

# 京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和63年度

京 都 市 文 化 観 光 局

## 序

西暦794年、平安京遷都以来、政治・学問・芸術・文化・宗教の中心都市として栄えた京都は、数多くの文化遺産を保ちながら、現在も大都市として躍進を続ける世界的にも希な文化都市であります。

本市では昨年、2巡目初回の国民体育大会を開催し、本年は市制100周年、5年後には平安建都1200年をむかえ、現在の京都は大きな節目にたっていると言えます。

近年、都市の活性化により、各種事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査が年々増加していますが、これらの発掘調査の成果を後世に伝えるよう努めております。

本書は、昭和63年度に京都市が国庫補助を得て、財団法人京都市埋蔵文化財研究所に委託して実施した埋蔵文化財調査の報告書であります。調査・報告にあたっては市民のみならず、文化庁をはじめ数多くの方々に御協力を賜りました。

御協力をいただいた方々に心から御礼を申し上げますとともに、本報告書が京都の歴史を解明する資料として大いに御活用いただければ幸いです。

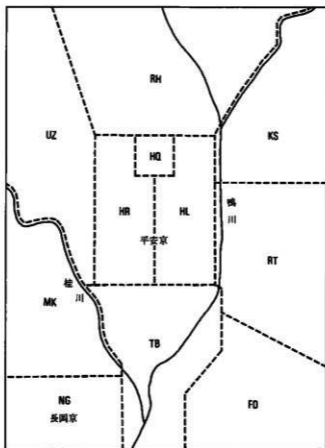
平成元年3月

京都市文化観光局

## 例 言

1. 本書は京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助に伴う昭和63年度の京都市内遺跡試掘立会調査概要報告書である。
2. 本書の執筆分担は次の通りである。  
I・II・III・VIIの1・2 家崎孝治 IV 平田 泰 V・VIの1・2・4・VIIの3 久世康博 VIの3 久世康博 吉村正親
3. 写真は遺構の一部を除き牛嶋 茂が担当した。
4. 本書に使用した遺跡、遺構の記号は奈良国立文化財研究所の使用例に従った。
5. 位置の記載は平面直角座標系VIによる。京都市遺跡測量基準点を使用し、記載した数値はX、Yともm単位で、水準はT・Pである。
6. 本書作成にあたっては、近藤章子、端美和子、尾藤徳行、松尾武彦、松尾雅章、吉本健吾、竜子正彦が参加した。
7. 本書に掲載した地図は、京都市都市計画局の地図を調整し、以下のごとく使用した。  
平安宮跡 図版2 8000分の1(京都市都市計画局発行 聚楽廻、壬生各2500分の1)  
平安京跡 図版3～12 10000分の1(同上、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅各2500分の1)  
北白川瓦窯跡 北白川廃寺跡 上終町遺跡 小倉町・別当町遺跡 北白川上池田町古墳群 中臣遺跡 白河街区 岡崎遺跡 図版13 10000分の1(同上、田中、山科、勸修寺、御所、吉田、三条大橋、岡崎各2500分の1)  
鳥羽離宮跡 下鳥羽遺跡 図版14 10000分の1(同上、城南宮、下鳥羽各2500分の1)  
中久世遺跡 大蔵遺跡 長岡京跡 東土川遺跡 図版15 10000分の1(同上、寺戸、向日町、久我各2500分の1)  
平安宮大極殿院跡 図1 2000分の1(京都国立博物館発行 聚楽廻、二条城1000分の1)  
平安宮聚楽院跡 図5 2000分の1(同上、聚楽廻)  
蛇塚古墳 図10 5000分の1(京都市都市計画局発行 太秦2500分の1)  
山科本願寺跡 図13 5000分の1(同上、山科2500分の1)  
伏見城跡 図19 5000分の1(同上、丹波橋2500分の1)

地区設定図



## 目 次

<p>I 調査の概要……………1</p> <p>II 平安宮大極殿院跡 (HQ12) ……3</p> <p style="padding-left: 20px;">1 調査経過……………3</p> <p style="padding-left: 20px;">2 遺構・遺物……………4</p> <p style="padding-left: 20px;">3 まとめ……………5</p> <p>III 平安宮豊樂院跡 (HQ65) ……8</p> <p style="padding-left: 20px;">1 調査経過……………8</p> <p style="padding-left: 20px;">2 遺構・遺物……………9</p> <p style="padding-left: 20px;">3 まとめ……………12</p> <p>IV 蛇塚古墳 (UZ4) ……14</p> <p style="padding-left: 20px;">1 調査経過……………14</p> <p style="padding-left: 20px;">2 遺 構……………15</p> <p style="padding-left: 20px;">3 遺 物……………16</p> <p style="padding-left: 20px;">4 まとめ……………16</p>	<p>V 山科本願寺跡 (RT5) ……17</p> <p style="padding-left: 20px;">1 調査経過……………17</p> <p style="padding-left: 20px;">2 遺 構……………19</p> <p style="padding-left: 20px;">3 遺 物……………19</p> <p style="padding-left: 20px;">4 まとめ……………23</p> <p>VI 伏見城跡 (FD32) ……24</p> <p style="padding-left: 20px;">1 調査経過……………24</p> <p style="padding-left: 20px;">2 遺 構……………25</p> <p style="padding-left: 20px;">3 遺 物……………28</p> <p style="padding-left: 20px;">4 まとめ……………32</p> <p>VII 主要な出土遺物……………37</p> <p style="padding-left: 20px;">1 土器類……………37</p> <p style="padding-left: 20px;">2 瓦 類……………38</p> <p style="padding-left: 20px;">3 石器類……………41</p>
--	---

## 図 版 目 次

- 図版 1 平安京図案分割図
- 図版 2 平安宮
- 図版 3 右京 北辺・一・二・三条 三・四坊
- 図版 4 右京 北辺・一・二・三条 一・二坊
- 図版 5 左京 北辺・一・二・三条 一・二坊
- 図版 6 左京 北辺・一・二・三条 三・四坊
- 図版 7 右京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版 8 右京 四・五・六・七条 一・二坊

- 図版9 左京 四・五・六・七条 一・二坊
- 図版10 左京 四・五・六・七条 三・四坊
- 図版11 右京 八・九条 三・四坊。左京 八・九条 一・二坊
- 図版12 左京 八・九条 三・四坊。右京 八・九条 一・二坊
- 図版13 北白川瓦窯跡 北白川麿寺跡 上終町遺跡 小倉・別当町遺跡 北白川上池田町  
古墳群 中臣遺跡 白河街区 岡崎遺跡
- 図版14 鳥羽離宮跡 下鳥羽遺跡
- 図版15 中久世遺跡 大藏遺跡 長岡京跡 東土川遺跡
- 図版16 遺跡 平安宮大極殿院跡 (HQ12)
- 図版17 遺跡 平安宮豊樂院跡 (HQ65)
- 図版18 遺跡 山科本願寺跡 (RT5)
- 図版19 遺跡 伏見城跡 (FD32)
- 図版20 遺跡 伏見城跡 (FD32)
- 図版21 遺物 平安宮大極殿院跡 (HQ12)
- 図版22 遺物 平安宮大極殿院跡 (HQ12)・豊樂院跡 (HQ65)
- 図版23 遺物 平安宮豊樂院跡 (HQ65)
- 図版24 遺物 山科本願寺跡 (RT5)
- 図版25 遺物 伏見城跡 (FD32)
- 図版26 遺物 伏見城跡 (FD32)
- 図版27 遺物 平安京左京五条三坊 (HL22)・左京七条三坊 (HL128)・左京六条三坊  
(HL67)・平安京出土瓦
- 図版28 遺物 平安京・京外出土瓦
- 図版29 遺物 平安京外出土瓦・石器類

## 挿 図 目 次

図1	調査位置図	3	図18	軒瓦、道具瓦、丸瓦拓影・実測図	20
図2	遺構実測図	4	図19	調査位置図	24
図3	軒瓦拓影・実測図	6	図20	調査トレンチ配置図	25
図4	軒瓦拓影・実測図	7	図21	SX123、101、25実測図	26
図5	調査位置図	8	図22	遺構実測図	26~27
図6	遺構実測図	9	図23	SB124実測図	27
図7	遺物実測図	10	図24	遺物実測図	28
図8	軒瓦拓影・実測図	11	図25	金属器実測図	29
図9	軒瓦拓影・実測図	12	図26	軒瓦拓影・実測図	30
図10	調査位置図	14	図27	軒瓦、丸瓦拓影・実測図	31
図11	蛇塚古墳周辺等高線図	15	図28	二条城二の丸御殿平面図	33
図12	遺物実測図	16	図29	SX126実測図	34
図13	調査位置図	17	図30	伏見城下町の火災	36
図14	遺構実測図	18	図31	遺物実測図	38
図15	遺物実測図	19	図32	軒瓦拓影・実測図	39
図16	金属器実測図	19	図33	軒瓦拓影・実測図	40
図17	軒瓦拓影・実測図	20	図34	遺物実測図	42

## 表 目 次

調査一覧表	43
-------	----

## I 調査の概要

本報告は、京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う昭和63年度の京都市内遺跡の試掘・立会調査概要報告書である。本書は、昭和63年1月4日より昭和63年12月28日までの間に実施した試掘・立会調査の概要を報告する。

調査件数は、試掘調査163件、立会調査655件の計818件である。その内訳は、平安宮地区(HQ) 101(内訳21)件、平安京右京地区(HR) 182(同40)件、平安京左京地区(HL) 241(同32)件、太秦地区(UZ) 28(同7)件、洛北地区(RH) 28(同7)件、北白川地区(KS) 42(同8)件、洛東地区(RT) 45(同5)件、伏見・醍醐地区(FD) 67件(同11)件、鳥羽地区(TB) 45(同13)件、南桂地区(MK) 19(同6)件、長岡京地区(NG) 19(同5)件である。以上の内遺跡の遺存状態が良好な36件については発掘調査に切り換えた。ここでは、本年度の試掘・立会調査で知り得た新たな成果について、その後の発掘調査等の成果を踏まえて以下その概略を述べる。

### 平安宮・京城地区

平安宮域においては、太政官の北面築地とその外溝(HQ10)、宮内を東西に区画する築地遺構(HQ92)を検出した。内裏(62年度HQ94)の調査では、炭を多量に含む特異な土壌を検出した。豊楽院の清曇堂推定地(HQ48)においては、版築基壇と礎石の根固め痕跡を確認することができた。大極殿院東部(HQ12)の調査では宮都造営に関連する整地層と瓦溜りを検出した。内匠寮(HQ55)の調査では、平安時代後期の南北溝と奈良時代の溝を検出し平安宮造営以前の遺跡の一端が明かとなった。

平安京城の調査において得られた成果の内、条坊遺構としては、右京四条二坊十六町(62年度HR195)と六条二坊十五町(HR13)の2カ所の調査で平安時代の道祖川跡を確認した。右京五条三坊二町(HR35)では綾小路南築地内溝を検出し溝内より8世紀末の土器類が大量に出土した。右京七条二坊十五町(62年度HR210)では七条坊門小路北側溝を検出した。

条坊遺構以外のものとしては、右京二条三坊三町(HR129)の調査で古墳時代後期の溝を検出した。右京八条三坊七町(HR1)では木樋と濾過装置とみられる石組遺構を検出した。左京北辺二坊八町(HL269)では室町時代の小川御所の堀跡を検出した。左京二条二坊十六町(HL113)では、藤原頼通に成る高陽院の庭園遺構を検出した。左京四条三坊七



町 (HL125) の南蛮寺跡においては、当寺に関連する陶磁器や金属製品が出土した。そのほか右京七条一坊九町 (HR54) の試掘調査では、弥生時代後期の竪穴住居跡 2 戸を検出したが、建物の基礎変更により未調査となった。

#### 平安京域外の地区

西野町遺跡 (UZ3) においては平安時代前期の建物跡と古墳時代後期の竪穴住居跡を検出した。蛇塚古墳 (UZ4) 周辺の公共下水道の立金調査では、主体部の石室下層に明確な遺物包含層を検出し、当古墳の上限期を決定できる資料を得た。史跡名勝嵐山 (UZ17) では平安時代前期の庭園遺構を、仁和寺院家跡 (UZ24) においては礎石建ち建物跡と古墳時代後期の古墳の一部を検出した。北野麁寺跡 (RH10) の調査では、平安時代の溝、土壌などを検出し野寺に関連する新たな資料を得た。白河街区 (KS22) では平安時代の瓦類と共に窯体片を多数検出し、近辺に瓦窯の存在を想定する資料を得た。山科本願寺跡 (RT5) の調査では東西の石組溝を検出し、溝内より瓦類が大量に出土した。伏見城跡 (FD32) の調査では石組溝、石垣と共に焼け落ちた状況を呈する武家屋敷建物跡を検出した。鳥羽離宮跡 (TB7・29) においてはそれぞれ鳥羽離宮期の遺構を明らかにした。大蔵遺跡 (MK14) では中世村落の広がりを把握することができた。長岡京跡 (NG21) では、弥生時代中期の方形周溝墓、古墳時代後期の溝、長岡京期の建物跡などを検出した。

以上が本年度の試掘立会調査の概要である。それらの中で、平安宮太政官跡の北面築地及び区画築地の検出は、平安宮跡復原のための定点となる重要な発見である。また高陽院の調査は、建物基礎工事の掘削中に庭園遺構が露出し、工事を中断して急速発掘調査をおこなったものであるが、一等級の庭園遺構を検出し得るとともに一部移築保存できたことは幸いであった。

この数年急速に進行している都市再開発の波は依然としてそのスピードが衰えない。藤ノ木古墳、長屋王邸宅跡、そして吉野ヶ里遺跡を頂点とする現在のマスコミの考古学ブームは、あまりにも現象面ばかりが強調されているようにおもえる。都市再開発を初めとする全国的な規模で進行している無秩序な土地開発の中で、日々行政発掘におわれつつ膨大な考古資料を獲得しつつも、静岡県登呂遺跡の発掘調査以降どれほどの遺跡保存が為されてきたであろうか。このような社会状況の中で今われわれに課せられた責務は、あらゆる時代にわたっての指標となるべき遺跡そのものを後世に対して保存し伝えて行くことではないであろうか。けっして机上の研究の成果を積み上げることに満足してはならないであろう。

## II 平安宮大極殿院跡 (HQ12)

### 1. 調査経過

調査地は、上京区千本通丸太町上る小山町に所在する。以前当地の西2軒隔てたところで大極殿の東軒廊跡を検出しており、今回当該地において大極殿院の東回廊跡を検出できる可能性があった。1988年5月に新築建物が計画されたため、事前に試掘調査を行うことになった。試掘調査は1988年5月11日に実施した。調査の結果、地表下0.7mにおいて平安時代の瓦を大量に含む瓦溜りを検出した。回廊跡は検出できなかったものの瓦溜りの瓦の遺存状態が良好なため、あらためて確認調査を行うことになった。確認調査は1988年5月13日より16日までの3日間実施した。調査面積は東西2m南北7mの計14㎡であった。またその後、建物基礎工事中に立会調査を行い、軒瓦類等を検出した。

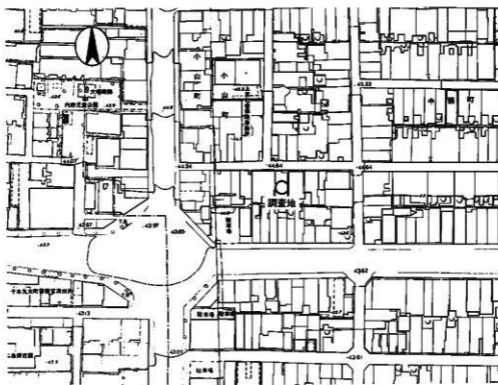


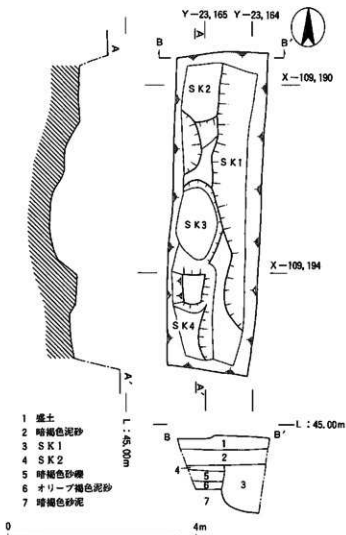
図1 調査位置図 (1/2000)

## 2. 遺構・遺物

基本層序は、盛土が0.3m、近世層が0.3～0.4mで地表下0.7mで暗褐色砂礫の整地層となる。この暗褐色砂礫層の下にオリブ褐色の砂っぽい泥砂層があり、共に平安宮造営時の整地層とみられる。その下層は暗褐色砂泥層で、今までの周辺の調査例より考えて古墳時代のものである。遺構は瓦溜りばかり4基あり、すべて整地層の上面において検出した。

瓦溜りは交互に切り合関係を持つが新旧の関係は明確には掘めなかった。瓦溜り4基の内、調査区内東半において

検出した瓦溜り(SK1)は大規模なもので調査区内だけで南北6m以上あり北及び東側に広がり、その後の建物基礎工事の立会調査において東隣家の下に広がっていることが判明した。



出土した遺物は遺物箱で65箱ある。大半は瓦類である。軒瓦は、軒丸瓦が4種4点、軒平瓦が7種14点の計11種18点である。

重圏文軒丸瓦(図3-1)間隔の異なる三重の圏線を巡らす。周縁は高く幅が狭い。丸瓦部凸面は丁寧なへう削りを施す。瓦当表面下半部はへう削り調整。胎土は緻密で硬く須恵質である。SK3出土。

復井八雲蓮華文軒丸瓦

図2 遺構実測図(1/80)

(図3-2) 内外区を二重の界線で分かち、瓦当周縁はへら削りの後ナデ調整、瓦当表面下半部はへら削りを施す。胎土は白色微砂粒を多く含む緻密、内面はやや赤味を帯び、外面は黒灰色を呈する。SK1 出土。

単弁十六葉蓮華文軒丸瓦(図3-3) 中房に1+6の蓮子を配す。珠文は花卉に対応して16個。瓦当周縁はヨコ方向のへら削り、丸瓦凸面部は、タテ方向のへら削りを施す。胎土は2と酷似する。SK1 出土。

唐草文軒平瓦(図3-4) 対向C字形を中心文とする外行3転式である。頸部から平瓦部にかけてヨコ方向の丁寧なナデ調整を施す。平瓦凸面部に幅4cmの縄目叩きを施す。胎土は白色微砂粒を含み2・3と酷似する。SK1 出土。

唐草文軒平瓦(図3-5・6) 対向C字形を中心文とする外行3転式である。5の頸部は幅が狭く間際まで斜め叩きを行う。6は頸のカーブを緩やかに作る。いずれもベンガラが付着する。胎土は砂粒を含み精良、須恵質に近い焼きを呈する。SK1 出土。

唐草文軒平瓦(図4-7) 外行3転式である。瓦当外周上下部とも幅広くへら削りを行う。平瓦凸面部は縄目叩きを施す。胎土は白色微砂粒を多量に含む精良、須恵質である。SK1 出土。

唐草文軒平瓦(図4-8) 対向C字形を中心文とする外行3転式である。瓦当外周をへら削りする。特に頸部から平瓦部にかけてきわめて平滑にへら削りを行う。胎土は砂粒を少し含む緻密だが焼成はやや甘い。SK1 出土。

唐草文軒平瓦(図4-9) 半截の花文を中心文とする、外行式である。胎土はほとんど砂粒を含まず精良、内面灰白色、外面淡黒灰色を呈する。SK3 出土。

唐草文軒平瓦(図4-10) 背向C字形を中心文とする外行3転式である。珠文帯には密に珠文を配す。胎土は砂粒を含み精良、内面暗橙灰色、外面黒灰色を呈する。SK1 出土。

### 3. まとめ

大極殿院東回廊の遺構を検出することはできなかったが、難波宮式瓦を初めとして平安時代前期から後期にわたる軒瓦類が大量に出土した。特に西賀茂瓦窯の製品が多く、生産地との比較研究をする上にとって貴重な資料を得た。

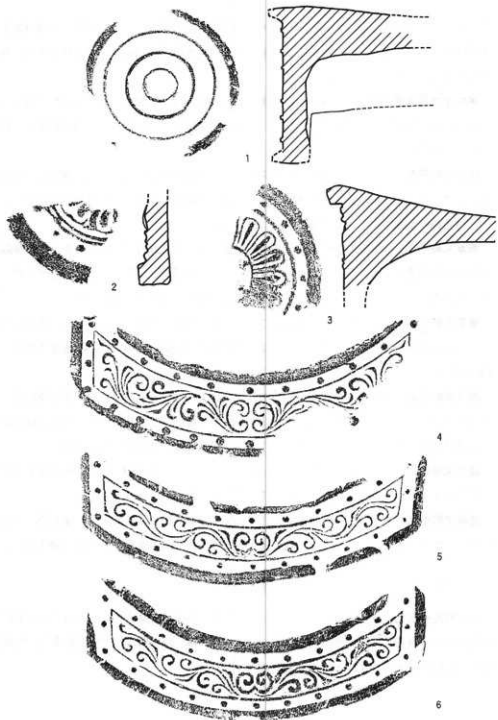
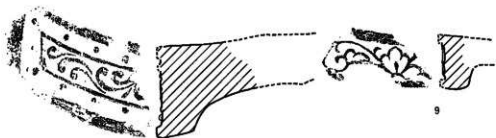


图3 轩瓦拓影·实测图 (1/3)



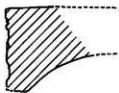
7



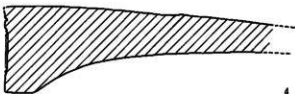
9



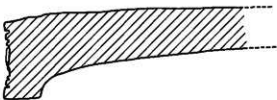
8



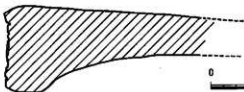
10



4



5



0

6

15cm

图4 軒瓦拓影·实测图 (1/3)

### III 平安宮豊楽院跡 (HQ65)

#### 1. 調査経過

調査地は、中京区築通り中町53-11に所在する。当該地は、平安宮豊楽院の東限付近に推定されることである。1988年10月当地に建物新築工事が計画されたため、工事に先立ち試掘調査を実施することとなった。試掘調査は1988年10月21日の1日実施した。調査の結果、地表下0.4mにおいて平安時代の瓦を多量に含む南北方向の溝状遺構を検出した。この溝状遺構は、豊楽院の東面築地に伴う遺構である可能性が高く、遺跡の重要性を考慮してあらためて発掘調査を行うことになった。発掘調査は1988年11月1日より11月18日までの15日間実施した。調査においては、東西8.5m南北6.3mの調査区を設定し、調査面積は54㎡であった。

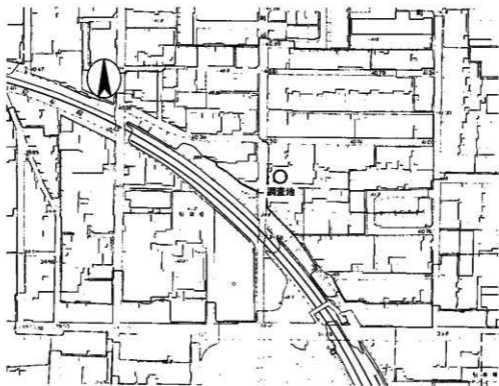


図5 調査位置図 (1/2000)

## 2. 遺構・遺物

敷地全体の基本層序は比較的単純で、盛土及び近世の土層の厚さが0.3~0.4mあり、以下は褐色礫砂層（一部下層の黄褐色泥砂層が露出する）の地山となる。この褐色礫砂層を掘り込んで近世の瓦溜り、土取り穴、溝、井戸跡などがある。平安時代の瓦を含む南北溝(SD1)は、これらと同一面の調査区西側において検出した。

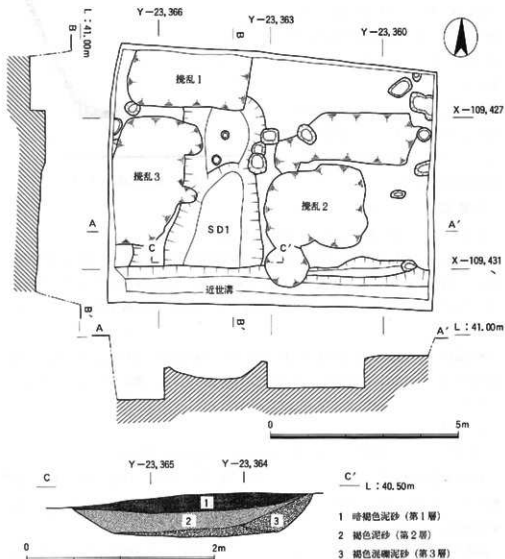


図6 遺構実測図 (1/100, 1/40)



SD1 幅2.6m、深さ0.5mを測りU字形の掘形を持ち、北に向かって緩やかに上がる。溝内の堆積土層は大きく3層に分かれる。第一層の土層中には多量の瓦を含むが、瓦は細かく砕かれた様相を呈する。第二層を除去する過程において第三層上面の溝両肩、特に西肩には、建造物から落下した状況を伺わせる状態で丸瓦、平瓦が出土した。完形品のものも含まれる。

出土した遺物は遺物箱で51箱ある。SD1より出土したものが大半を占め、その内訳はほとんどが瓦類であり、他に少量の土器類がある。

#### 土器類

SD1より出土した土器類には、土師器、須恵器がある。

土師器杯(図7-1・2) 平らな底部を持ち、体部は斜め上方にひらく。口縁部はやや屈曲し、口縁端部は小さく肥厚する。e手法の土器である。1は口径が12.8cm、器高2.4cm、2は口径13.6cm残存高2.3cmである。胎土は緻密で明橙色を呈する。第3層より出土したものである。

須恵器鉢(図7-3) やや肩の張る広口の形態で、口縁部は短く外反する。底部外面は糸切り痕が残る。胎土は白色微砂粒を少量含む。淡灰色を呈する。第3層より出土したものである。

#### 瓦類

軒瓦は、軒丸瓦が5種5点、軒平瓦が5種6点の計10種11点である。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦(図8-4) 中房には1+6の蓮子を置く。珠文はおおぶりで12個配す。胎土は砂粒を多く含む粗い。焼成は甘く、内面淡黄灰色、外面黒灰色を呈する。SD1第2層出土。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦(図8-5) 摩滅が著しく詳細不明。花卉は複弁で弁子を二重の輪郭線が巡る。胎土は砂粒を多く含む粗い。攪乱3出土。

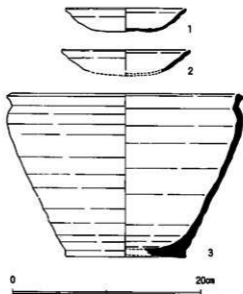


図7 遺物実測図(1/4)

複弁四葉蓮華文軒瓦(図8-6) 中房に1+5の蓮子を配す。大きく盛り上がる複弁に一重の輪郭線が巡る。弁間文は撥形を呈する。瓦当裏面に布目痕が残り、一本造りである。胎土は砂粒を多く含み、内面灰色、外面暗橙灰色を呈する。SD1 第2層出土。

唐草文軒平瓦(図9-7・8) 対向二重C字形を中心文とする外行3転式である。丸みのある幅広の頸部を持つ。平瓦凸面に平行条線の叩き痕が残る。7にはベンガラが付着が認められる。胎土は小石、砂粒を含み粗い。焼成はやや甘く、内面灰色、外面暗黄灰色を呈する。7はSD1 第1層より、8は攪乱3より出土。

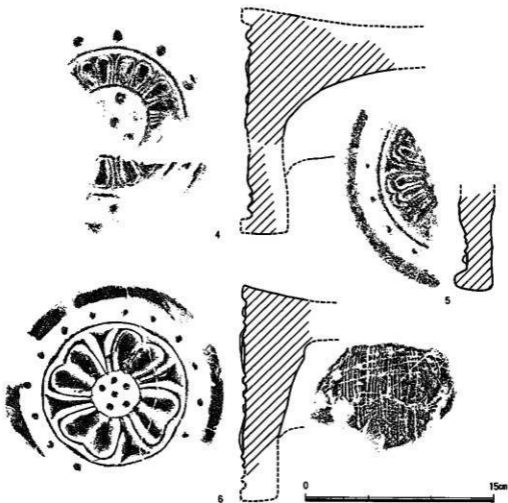


図8 軒瓦拓影・実測図(1/3)

唐草文軒平瓦（図9-9・10・11） 9・10・11共に同じモチーフのものである。いずれも胎土は砂粒を含み精良、軟質である。9・11は攪乱3より、10は攪乱2より出土。

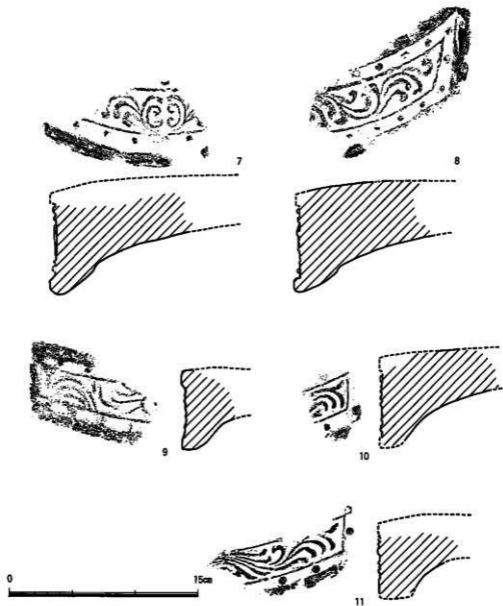


図9 軒瓦拓影・実測図 (1/3)

### 3. ま と め

南北溝より出土した土器・瓦類は平安時代中期までにおさまるものである。豊楽院では、以前の豊楽殿跡発掘調査（1987年当研究所）においてその中心軸線が求められており、九条家本や陽明文庫の宮城図で知られる豊楽院の東西幅（築地の心心距離）56丈余の数値と比較して、今回検出した溝を東面築地内溝とみた場合豊楽院の東西幅は57丈の数値が得られる。

## IV 蛇塚古墳 (UZ4)

### 1. 調査経過

西部第二排水区西部(第二)系統太秦(その17)公共下水道に伴う立会調査を実施した。調査地は右京区太秦御所ノ内町、太秦面影町、太秦堀ケ内町の地域である。特に太秦面影町では史跡蛇塚古墳を南北に縦断する工事掘削に伴う調査が行われ、蛇塚古墳の周濠などの検出が期待された。

調査の結果、蛇塚古墳後円部石室下層に古墳時代後期に属する遺物包含層の存在を確認し、また周濠検出推定位置に周濠が認められないことなどが判明した。調査期間は昭和62年11月9日から昭和63年9月22日までであった。このうち蛇塚古墳を中心にした調査は昭和63年2月10日から2月22日であった。



図10 調査位置図 (1/5000)



図11 蛇塚古墳周辺等高線図 (1/2000)

## 2. 遺 構

北から蛇塚古墳後円部から石室を迂回して前方部中央部を縦断する下水道の掘削工事に伴って、堆積土層の記録や出土遺物・遺構の有無の確認調査を行った。この結果1～4地点では周濠は確認できなかった。特に2地点では詳細な観察を行ったが、地表下約1.0mで無遺物層と考えられる淡黄色砂礫層が認められ、やはり周濠は未検出であった。

しかし5・6地点では、古墳時代後期の遺物包含層を検出した。層序は約5cmのアスファルト直下に黄色粘土層・暗黄色粘土層が約30cmの厚さで堆積する。これは蛇塚古墳の封土と考えられる。さらに地表下35～65cmの間に層厚30cmの淡黄色泥砂層が認められ、古墳時代の土器片、炭などを含んでいる。この堆積層は蛇塚古墳石室の南北地点(5・6)で検出した。墳丘の盛土と考えられる土層の下層に位置していること、石室基底部より下位にあると観察されることなどから、蛇塚古墳築造以前の遺物包含層といえる。

また、7地点では幅1.8m、厚さ60cmの石材が道路下に埋没していることを確認した。こ

れは転落した天井石の石材の一部であろう。

### 3. 遺物

蛇塚古墳下層の遺物包含層から須恵器、土師器が出土した。須恵器には杯蓋、杯身、器台があり、土師器には甕の小破片がある。杯蓋は天井部のみ的小破片である。外面は幅広いのへら削りが認められる。杯身(図12-1)は外面中位までへら削りを施し、立ち上がりは

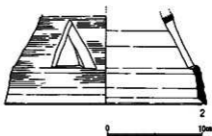


図12 遺物実測図 (1/4)

内傾し端部はやや外反する。受部は水平に伸び端部は丸く取める。胎土中に小砂粒を多く含む。器台(図12-2)は脚部のみ的小破片である。一段目、二段目共に三方向三角形の透かしを持ち、各段毎に千鳥に配している。脚部は内弯気味に斜め下方に伸び、端部は外方へつまみ出し丸く取める。外面は全体に粗いカキ目による調整を施し、各段は一条の沈線で面する。

### 4. まとめ

今回の調査は、蛇塚古墳の後円部、前方部を縦断調査した画期的なものといえる。蛇塚古墳周辺の調査及び周辺地形の調査結果を合わせて新たに得られた蛇塚古墳に関する知見を以下に列記する。現状では蛇塚古墳の後円部、前方部共にほぼ宅地化しており、石室の石材が直接露出しているがなお路面下には20~30cmの墳丘盛土が残存する。墳丘部を囲む周濠は存在しない。また墳丘を形成する土層のさらに下層に遺物包含層が存在する。これは後円部下層を中心に広がっており、比較的小範囲に限定される。性格は不明である。この遺物包含層から出土した遺物の年代は蛇塚古墳築造の上限を示すものである。出土遺物には6世紀後半代の年代が与えられる。蛇塚古墳周辺の旧地形は、等高線や周辺調査の成果から、前方部の一部を含めた両側は、東南流する旧流路が存在した。ただ後円部は比較的安定した土層が認められ、自然堤防が低い独立丘陵であったと考えられる。この旧流路や湿地が存在したため、蛇塚古墳には周濠を備え付ける必要性がなかったと考えることもできる。

## V 山科本願寺跡 (RT5)

### 1. 調査経過

調査地は、山科区西野山階町29に所在する。当該地は戦国時代末期の寺院としてまた一向一揆の拠点地でもあった山科本願寺に該当する。1988年5月当地において店舗併用住宅の建設工事の届出があったため、工事の開始と共に立会調査を実施することとなった。

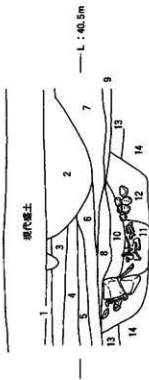
調査地周辺では1984年度に公共下水道工事に伴う立会調査、1986年度には調査地の北東約50mの地点で石油スタンド改築工事に伴う立会調査が実施されている。これらの調査で石組溝等の山科本願寺に関連すると思われる遺構を確認している。そのため、これらの点に留意して調査に当るよう努めた。調査の結果、現地表下約1.3mより溝状の石組遺構を確認した。そのため、工事を一時中止することを要請し、より詳細な調査を行うこととした。調査は、1988年5月30日から6月2日迄行った。



図13 調査位置図 (1/5000)



X-113,370



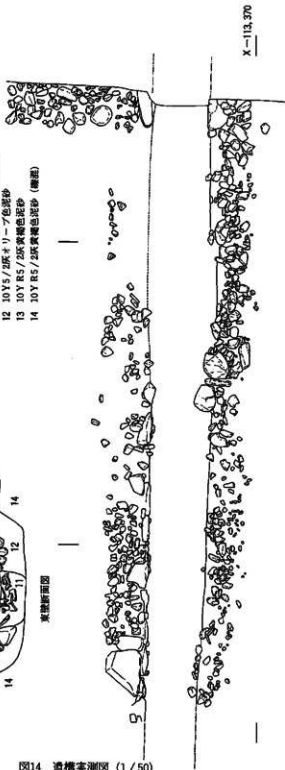
現代盛土

L : 40.5m

- 1 10Y5/1灰色泥砂
- 2 2.5Y4/2暗灰黄色泥砂
- 3 7.5Y4/1灰よりーブ色泥砂
- 5 5Y4/1灰色泥砂
- 6 5Y5/2灰よりーブ色砂泥
- 6 5Y5/2灰よりーブ色砂泥
- 7 10Y R5/2灰黄褐色砂泥
- 8 2.5Y5/2暗灰黄色砂泥
- 9 10Y R5/2灰黄褐色砂泥 (炭混)
- 10 10Y R5/7に多い黄褐色砂泥
- 11 10Y R5/2灰黄褐色砂泥 (粗砂含)
- 12 10Y5/2灰よりーブ色泥砂
- 13 10Y R5/2灰黄褐色泥砂
- 14 10Y R5/2灰黄褐色泥砂 (礫混)

東壁断面図

図14 遺構実測図 (1/50)



2m  
0  
Y-17,094

Y-17,098

## 2. 遺構

調査地の基本土層は、上から現代盛土層(0.5m)、旧耕作土層(0.1m)、10YR5/3にふい黄褐色砂泥層(0.3m)、10YR5/2 灰黄褐色泥砂層(0.4m)、10YR5/2 灰黄褐色砂泥層(地山)となっている。遺構は灰黄砂泥層を切って成立している。

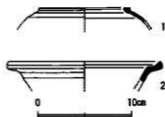


図15 遺物実測図(1/4)

検出した遺構は東西の石組溝である。溝の確認幅は0.8m、深さ0.6mを測り、延長8m分を確認した。石組は下段に一辺か0.2mから0.5mの大きさの河原石を据え、その上に径5から10cmの小石を敷いている。また調査地の東端部でも南北の石列を確認している。石組の残存状況は北岸は比較的残りは良好だが、南岸は抜き取られている部分が多い。掘形は0.8m前後あり、径5～10cmの小石を裏込している。溝の埋土は上から10YR5/3にふい黄褐色泥砂層・10YR5/2 黄褐色泥砂層となっており、第2層から大量の瓦が出土している。

## 3. 遺物

石組溝から出土した遺物は整理箱にして20箱である。その内容はほとんどが瓦で、他に土師器、陶器、磁器、軒瓦、平・丸瓦、鉄製品などである。土師器は少量で、実測可能なものはない。このうち、実測した土器、金属製品、瓦について説明する。

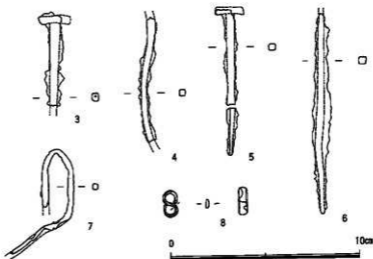


図16 金属器実測図(1/2)

土器(図15-1・2)

土師器は桃山時代後

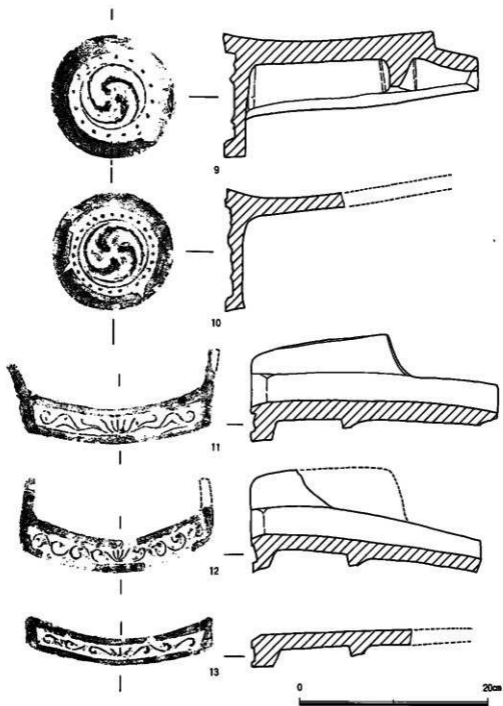


图17 軒瓦拓影·实测图 (1/4)

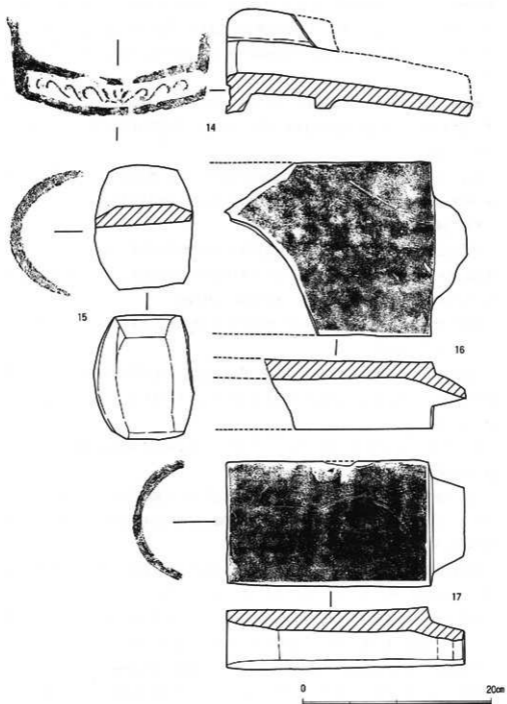


图18 軒瓦，道具瓦，丸瓦拓影·实测图（1/4）

期の様相を示すが、小片のみであった。陶器壺(1)は口縁部のみ出土。口縁部内外共にヨコナデを施し、端部でカットする。口縁部の復原径は9.6cmを測る。胎土は明褐色で良好。釉はオリーブ灰色を呈する。青磁鉢(2)も口縁部のみ出土。端部付近で外に折り曲げて口縁とする。

金風器(図16-3~8)(8)は銅線を「8」字状に屈曲させて、製品としたもの。鍍金を施す。長さ1.45cm、幅0.8cm、厚さ0.45cmを測り、断面の形状は厚さ0.15cmのカマボコ状を呈する。装飾品か。

(7)は一辺0.3cmの方形を呈する線状の鉄を折り曲げている。用途不明。(3)~(6)は一辺0.3cm~0.4cmの方形の断面を呈する釘。頭部は方形の板状で、折り曲げている。

#### 瓦類(図17・18-9~17)

(9)は掛巴瓦と考えられるもので、本瓦等の破風に使われる瓦であるが、釘穴がないため表面に滑べり止めが取り付けられている。ただし玉縁も付いているため、単に築地塀を飾るためにも使用されたものと考えている。全長26cm、直径14cm。

(10)は三巴文軒丸瓦。直径13cmあって、27個の連珠の廻るものである。以上の2例には多くの同范が認められる。

(11)は均正唐草文水返し付き軒平瓦。20cmの横幅をもち、平瓦の場合は屋根の谷に使用されるものであるが、ここでは特に掛巴瓦と組み合わせて、ずり落ちるのを防ぐために使用したのと考えられる。

更にアゴ後方にも滑べりを防ぐために、横木にかかるように止めが取り付けられている。文様は中心飾りの左右に不完全な三転唐草がある。

(12)は均正唐草文水返し付き軒平瓦。21cmの横幅をもち、両翼に滑べり止めを取り付けている。アゴの後方にも滑べり止めがあり、(10)と同様に使用したのと考えられる。文様は中心飾りの左右に4反転唐草が単純に付いている。

(13)は均正唐草文平瓦。20cmの横幅をもった滑べり止め付きである。文様は中心飾りの左右に3反転唐草が付くもので、天地が非常に狭くなっている。

(14)は均正唐草文水返し付き軒平瓦。21cmの横幅をもち、両翼に滑べり止め兼水返しが付いている。文様は中心飾りの左右に4反転唐草が波状に付いている。

(15)は壺面戸瓦ないし輪違いと思われるもので、上下13cm、左右10cmある。

(16)は障笠伏間瓦で小さな玉縁が取り付けられているため、大棟よりは降棟・隅棟の棟瓦として使用されたものである。凸面はヘラで暗紋風に磨かれている。幅は18cmあり、凹面には

薄く布目と糸切痕を残している。

⑦は完形の丸瓦で、全長25cm・幅13cmある。凸面はよくへら磨きがかかり、非常に美しく仕上がったもので、最も多く使用、生産された一般例である。

#### 4. ま と め

今回の調査で検出した遺構は、その構造・出土した遺物から見て、昭和62年度の立会調査で検出した石組溝と同様の性格のものであると思われる。昭和60年度の公共下水道工事に伴う立会調査でも、調査地に東接する道路で石組溝らしい遺構が確認されているところからも、東へ延びる事は確実である。また、山科本願寺の古絵図にもとずいた復原因が示されているが、調査地が<sup>註3</sup>具体的にどの場所に位置するのかはまだ不確定要素が多いと考える。今後の調査成果の増加を待って検討すべきであろう。

註1 『昭和62年度 京都市内遺跡試掘立会調査概報』京都市文化観光局、（京都市埋蔵文化財研究所

註2 『昭和59年度 京都市埋蔵文化財調査概報』（京都市埋蔵文化財研究所

註3 『山科寺内町の遺跡調査とその復原』（『国立歴史民俗博物館研究報告 第八集』1985）

## VI 伏見城跡 (FD32)

### 1. 調査経過

伏見区桃山町永井久太郎59-2に於て宅地分譲が計画され、その申請が提出された。調査地は豊臣秀吉が築城したという伏見城の城下町の一角であり、近辺には桓武天皇陵も位置している。また調査地の北東部では住宅建築に伴う事前調査で古墳1基を検出している。

【豊公伏見城ノ図】によれば、当地は山内一豊の屋敷跡と記されているが、実際に検証されている例は極く希である。

1988年10月当地に於て試掘調査を実施することとなり、調査の結果、現地表下0.5mから1.3mで良好な遺構の残存状態が明かとなった。そのため、より詳細な調査を行うべく後日改めて試掘確認調査を行うこととなった。調査期間は1988年11月21日から12月10日までの3週間、調査面積は約250㎡であった。

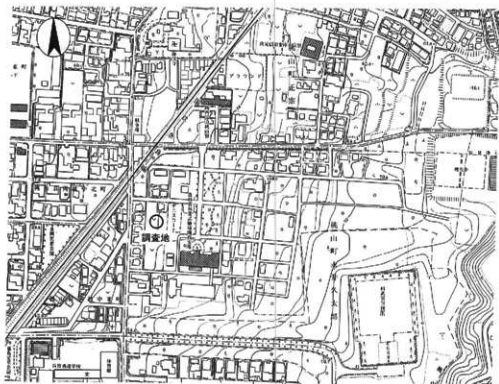


図19 調査位置図 (1/5000)

## 2. 遺 構

調査トレンチは現在の伊達街道に並行した南北トレンチ（第1トレンチ）・第1トレンチに、直交して東西トレンチ（第2トレンチ）を設定した。第1トレンチの基本土層は、上から、現代盛土（0.1～0.6m）、2.5YR3/2 黒褐色砂泥層（第2層0.1～0.3m）、10YR4/4 褐色砂泥層（第3層0.2m）、褐色泥砂層（焼土・炭を多く含む）と黄褐色泥砂層の互層（第4層0.3m）、黄褐色砂泥層と黄褐色砂礫層（第5層0.2m）、7.5YR5/8 明褐色砂泥層（地山）となっている。第5層と明褐色砂泥層の間には炭が薄く入っている。また明褐色砂泥層は西に向かって傾斜しており、第2トレンチの西端近くでは急激に落ち込んでいることが現代掘削の断面観察により判明する。遺構は第4層を切って土塊状の落込みが認められるが、検出した主たる遺構群は第5層上面からである。

### 第1トレンチの遺構

このトレンチは旧伊達街道およびそれに付属する施設の検出を主眼として設定したものである。

SD1 現地表下1.3mにて検出した南北の石組溝である。検出遺構の内面の幅は0.5～0.55m、深さ0.4～0.5mを測り、掘形は幅1.2m前後、深さ0.6m前後である。底面は若干の凹凸はあるが、その傾斜は南から北に向かっており、溝の振れはN2°29'E弱である。埋土は砂を主体としており、出土遺物は瓦・陶器が少量ある。

SF2 SD1の西で検出した路面状の遺構である。現在の伊達街道とはほぼ重なり合っているが、当初は約2.8m広がっていたことが明かとなった。路面は砂・小礫で固められており、3面以上を確認する。当初路面は比較的平坦であるが、次第に中央部が高くなり、カマボコ状の形状を示す。路面堆積土の中からは遺物の出土はなかった。

SX3 SD1の東側、幅1.0mを検出。SD1の東肩部の石組上に更に一段の石を据えて犬行状にしたものである。遺構上部に若干の瓦が出土するが、出土状況から見て、遺構との関連は希薄なようである。

SX4 SX3の東端を画する築地状の石



図20 調査トレンチ配置図 (1/1000)



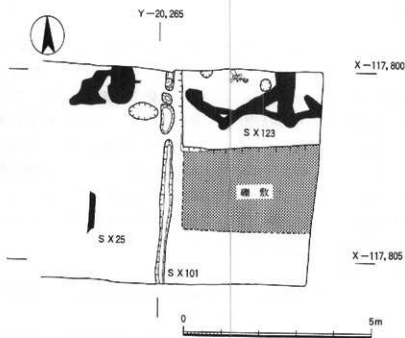


図21 S X123, 101, 25実測図 (1/100)

垣遺構。検出した石列は1段、高さ約0.3mである。検出した範囲内では柱穴その他の築地状の施設は検出できなかった。調査トレンチの南端部では人頭大の石を1基検出するが、調査範囲内では明らかにできなかった。

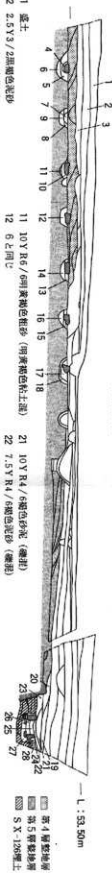
SX126 SX4の更に下に続く石垣遺構で、かなり大きな石を3段横積みにして構築する。高さは約1mを測る。SD1、SF2、SX3は共にこの遺構を埋めた後に形成したものであることが判明した。また、SX126の南端では、一辺1m前後の石を掘えていた(図29)。

#### 第2トレンチの遺構

このトレンチでは、伊達街道の東側の宅地部での遺構の在り方についての調査を主眼として設定した。

SX123 トレンチの北東部で検出した壇状の呈する遺構である。検出した規模は東西3.5m南北4.3mを測り、南西コーナー部を検出した。南面したところでは礎を固く敷いた状況を呈している。検出面は全体が強い火力のためか赤褐色となっており、非常に固くなっていた。特に、調査区の北東から南東のコーナー部に向かっては赤く変色しており、木材が火災によって倒れた様子を示している。

横断面図



- 1 盛土
- 2 2.5Y3/2黄褐色泥砂
- 3 10Y R4/4褐色泥砂
- 4 10Y R5/6黄褐色泥砂(粗砂混)
- 5 10Y R5/6黄褐色粗砂混
- 6 10Y R5/6黄褐色粗砂(明黄褐色粘土混)
- 7 7.5Y R4/4褐色泥砂(黄土・灰混)
- 8 5と同一
- 9 6と同一
- 10 10Y R5/4に多い黄褐色粗砂

- 11 10Y R6/6明黄褐色粘土混(明黄褐色粘土混)
- 12 6と同一
- 13 6と同一
- 14 6と同一
- 15 5と同一
- 16 6と同一
- 17 10と同一
- 18 10Y R5/6黄褐色粘土
- 19 7.5Y R4/6褐色泥砂
- 20 7.5Y R4/4褐色砂混

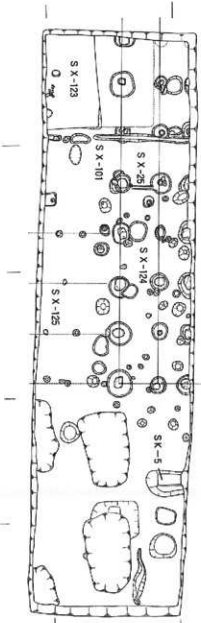
- 21 10Y R4/6褐色泥砂(腐植)
- 22 7.5Y R4/6褐色泥砂(腐植)
- 23 10Y R5/6黄褐色砂混
- 24 2.5Y 4/4シリート褐色泥砂
- 25 7.5Y R5/6明黄褐色泥砂
- 26 7.5Y R5/6明黄褐色泥砂(腐植)
- 27 10Y R5/6黄褐色砂混(粘質)
- 28 2.5Y5/6黄褐色砂混

Y-20,565

Y-20,570

Y-20,575

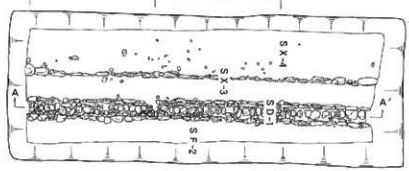
Y-20,580



第2トレンチ



0 5m



第1トレンチ

X-117,805

X-117,800



図22 遺構実測図 (1/150)

SX101 SX123 に並行して南北に連なる遺構である。北端部では人頭大の石およびその抜取穴を検出する。南半部では溝状となるが、石が据えられていた可能性を示す。

SX25 SX123、101 に並行して更に東側で、幅0.1m、南北1.3m・東西1.0mの規模で鉤形に検出する。検出した厚さは2～3cmであり、東西部は僅かな高まりとなっている。この遺構も強い熱のためか赤く変色している。SX123、101、25 は互いに関連する遺構であろう。

SB124 トレンチ南半部で検出した礎石建物である。検出した規模は本家の北端部（A列）7間分以上、およびその北側にある2間分の廊下（B・C列）に相当する部分である。いずれの柱穴にも礎石が据え付けてあった。柱間の間隔は東西は1.98m（≒6.6尺）、北側の廊下相当部では各々1.2m（≒4尺）1.5m（≒5尺）を測る。但、検出した東端部では若干間隔が狭くなっている。礎石の据え付け方を断面観察により検討してみると、A列では径0.8～1.2m、深さ0.3

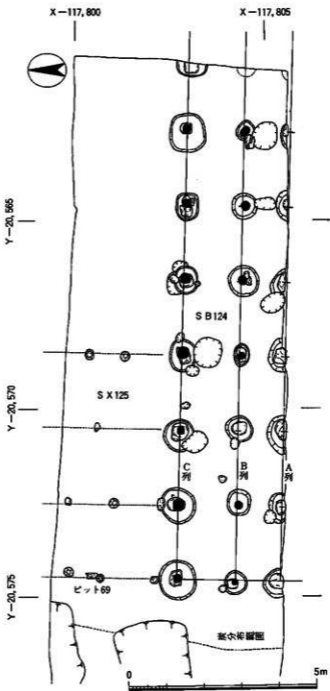


図23 SB124実測図 (1/100)

～0.4mの掘形をもつ。掘形の中位まで土を充填し、その上に人頭大の河原石・花崗岩の平面を上に向けて据える。礎石は5～10cm程度露出している。B・C列は径0.6～0.8m、深さ0.3～0.4mで、掘形の底部には粘土を巻いたものもある。据え付けた礎石の高さはまちまちであるが露出することはない。建物の真北に対する振れはN27°E強である。

SX125 SB124の北西端に取り付き、北に延びる4列の柱列である。柱の間隔は1.2～1.4mと一定しておらず、東西の柱筋も直線に通っていない。SB124と取り付く所では径20cm程の石を据えており、更に北側の柱穴は径25cmの素堀である。ビット69では柱材が北に倒れて焼失している状況で検出する。柱の間隔は1.2～1.4mと一定していない。

### 3. 遺物

出土した遺物は整理箱で50箱である。整地層からの出土が大半を占めており、他に石組溝内、柱穴、土壇などからの出土がある。遺物の内容は瓦が大半を占めており、金箔瓦も

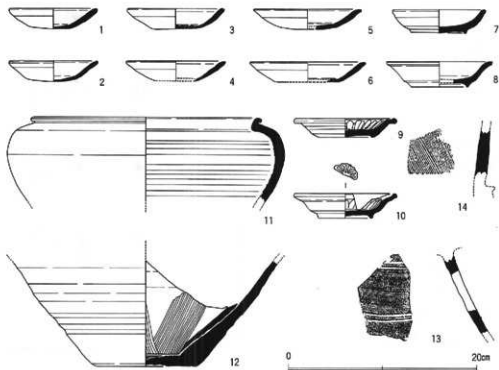


図24 遺物実測図 (1/4)

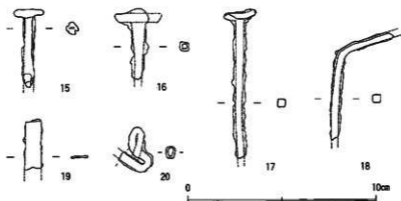


図25 金属器実測図 (1/2)

数点ある。他に焼米、鉄製品、土師器、陶器、弾丸などがある。

土師器(図24-1~6) 1、2、3、5は整地層から、4はビット69から出土する皿である。いずれも外面上部はヨコナデ、下半部は粗いナデあるいは指オサエを施す。内面は底部の立ち上りから口縁部にかけてヨコナデを施す。断面の形状は底部には浅い沈線を施し、口縁部は肥厚する。

1は口径9.4cm・器高2.1cmを測る皿である。完形。胎土は灰白色で良好である。土器の内外面ともにヨコナデを施す。

2は口径9.4cm・深さ2.2cmを測る。完形。胎土の色調は浅黄橙色を呈し、長石を含む。焼成は良好。口縁部内面の一部にスガが付着する。

3は口径1は10.3cm・深さ2.1cmを測る。完形。胎土の色調は浅黄橙色を呈し、長石を含む。焼成は良好。

4は口径10.5cm・深さ2.1cmを測る。胎土の色調はにぶい橙色を呈し、長石その他を含む。焼成は良好。

5は口径11.6cm・深さ2.2cmを測る。胎土の色調はにぶい橙色を呈し、長石を含む。焼成は良好。口縁部の一部にスガが付着する。

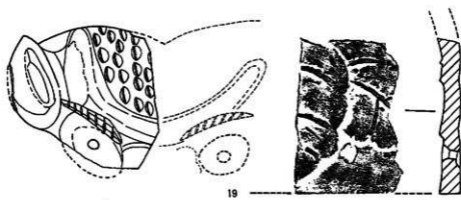
6は口径1は12.3cm・深さ2.1cmを測る。胎土の色調はにぶい橙色を呈し、長石その他を含む。焼成は良好。口縁内面の一部にスガが付着する。

陶器(図24-7~12) 土師器と同様整地層からの出土がほとんどであり、他に石組溝からも出土している。

7は口径9.9cm・器高2.1cmを測る。口縁部は外反する。胎土は灰白色で砂粒がやや多い。



21

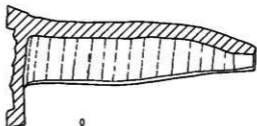


19

23



24



0 20cm

图26 軒瓦，道具瓦拓影·实测图（1/4）

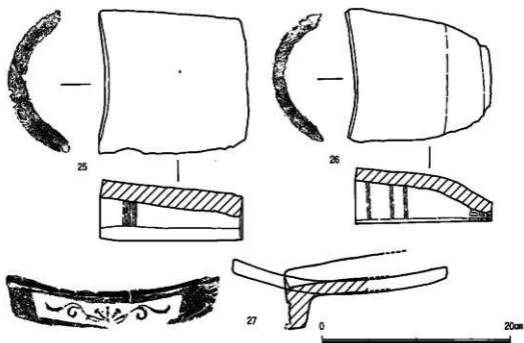


図27 軒瓦、丸瓦拓影・実測図 (1/4)

釉はオリブ黄色を呈する。土器の外面上半部はヨコナデを施し、底部はケズリを施している。高台はケズリ出である。唐津か。

8は口径10.9cm・器高2.6cmを測る。口縁部は2段に外半し、端部で折り曲げる皿である。胎土は浅黄橙色で良好である。釉はよい黄色を呈している。土器の内外面ともにヨコナデを施し、底部はへら切りである。内面底部には菊様を、体部には花卉様の文様を施す。瀬戸。

9は口径11.2cm・器高2.1cmを測る皿である。胎土は灰白色で良好である。釉は浅黄色を呈している。土器の外面上半部はヨコナデを施し、底部はケズリを施している。高台はケズリ出である。瀬戸。

10は口径10.9cm・器高2.0cmを測る。完形品。口縁部は外半し、端部で外に折り曲げる皿である。釉はオリブ黄色を呈している。土器の内面はヨコナデ、外面上半部はヨコナデ、下半部は削りを施している。内面には花卉様の文様を施す。瀬戸。

11は口径24.6cmを測る。口縁部を外に折り曲げる鉢である。胎土は良好で、灰色を呈する。調整は外面はヨコナデ、内面口縁部はヨコナデ体部はロクロ削りである。

12は底部の口径10.6cmを測る。端部は破損している。胎土は良好で、内面は浅黄橙色、外面は赤灰色を呈する。調整は外面はヨコナデ、内面部には条痕がある。

他に染付陶器が出土しているが、いずれも図化するまでには至らない。

また整地層内からは古墳時代の埴輪・須恵器片（器台脚部）が出土する。（図24-13、14）  
金属製品・その他（図25-15～20、図版25） 整地層、土壌、柱穴、溝から出土しているが、出土量は少ない。

15～18は鉄釘である。身部は一辺4mm程度の方形を呈しており、最大長は7.2cmである。頭部何れも折り曲げている。18も釘かと思われる。

20は鉄線を折り曲げたものであるが、その使途は不明である。

19は巾9mm、厚さ1mmの板状の製品であるが、これもまた使途は不明である。

他に直径1.1cmの鉛製の弾丸も出土する。重さは2.6gある（図版25-20）。

また整地層からは焼土・炭とともに多量の焼米が出土している（図版25）。何れも塊になっており、中心部まで真黒に炭化した炊米である。なかには手で押えてオニギリ状になったものもある。遺物整理箱で1箱出土。

瓦類（図26、27-21～27） 出土遺物のほとんどは瓦類であるが、SK5、SX123から若干量出土し、大半は整地層からのものである。瓦の種類は、軒九瓦、鬼瓦、和違瓦、丸瓦などで、平瓦等のものはない。

21 桐文をアレンジした鬼瓦の一部と考える。伏見城関連の遺構からは様々な飾瓦が発達し、従来あった寺院飾瓦とは大きく異なった意匠が次々と作り出された。特に桐文は巻型唐破風鬼瓦として、大棟を荘厳に保つため、複雑な組み合わせとなった。全体の下半部を構成していたと考えるのは桐文の葉子であり、表面が、壁面に張り付くように造られていたためである。この破片は28cmあって、全体を類推すると、かなりの大きさになり、築地塀よりむしろ大きな建物に使用されたものであろう。金箔が少量付着している。

22 鬼瓦の一部。目と耳、髪が判別できる。16cmくらいの小片であって、角・耳・口は欠落していたため、全体を復原するには至らなかった。

23 桐文の切据鬼の一部と考えている。16cm破片であるが、下半の一辺は30cm前後あると推定する。火災にあったためか赤変している。大棟ないし檜皮葺の上にも使用されている例がある。

24 三巴文軒九瓦で完形品。尾部は玉縁がナデ玉縁となり、一般には行基葺瓦の部類になるが、ここでは堀瓦の下を飾る印入葺と考えている。



25 輪違い瓦。青海波瓦にしては曲面が急であるため、輪違い瓦であると考えた。これは4個の筒部を前後で半割したもので、15cmを測る。

26 25を前半部とすると、後半部がこの輪違いで、2例完形品を確認できる。14cmの幅をもって棟込瓦として使用される。

27 均正唐草文軒平瓦 2トレンチのSK5及び整地層から出土。下アゴの一部が欠けているが、完形品となる。軒面の幅は22.8cmを測る。調整は全体にケズリを施し、接合部はナデ仕上げを施す。一部に指圧痕が残る。

#### 4. まとめ

今回の調査は、宅地分譲地内の道路予定部での調査という制約を受けていたためと、調査日数が限られていたという点で、十分な調査を行ったとは言いが、従前にはない成果を挙げる事が出来た。

まず、伊達街道の本来の構造と変遷が明らかとなったことと、伏見城下の大名屋敷の一端が明らかとなったことである。

伊達街道については、当初は高さ約1.2m前後の石垣SX126が築成されたものが、後に側溝をもつ同路として整備し直したものである。そして排水は北に向かって流されているものである事が判明した。

宅地内での遺構の検出状況は、SX123、101、25が同一期の遺構と考えられ、その前の段階では、SB124、SC125が出来たものと考えられる。地山上では遺構の検出を行っていないが、攪乱墳での断面観察によれば、炭・瓦の堆積が認められるところからも、遺構の存在が予想される。

SB124の建築形式は、A列とB列、B列とC列はそれぞれ廊下に該当し、列以南は居住空間としての「**本家**」になる。類似した構造をもつ現存する建築物としては、二条城二の丸御殿がある(図28)。

また、SX126南隅で検出した平面に据えた巨石は、調査によって確認したわけではないが、隅石にあたり、出入口であった可能性もある。次に建物群と石垣・道路側溝との関係については、これらの建物群が存在していた時期には石垣SX126があり、その後道路が整備されたものとする。

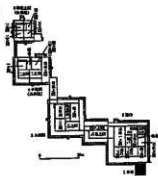


図28 二条城二の丸御殿平面図

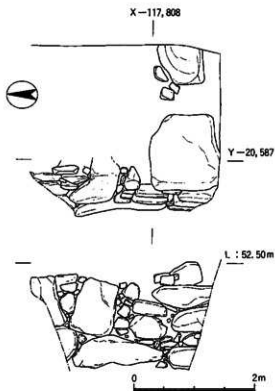


図29 S X126実測図 (1/50)

1 慶長三年四月五日

… 寅刻伏見羽柴久太郎家焼失、…

【首経辨記】

2 慶長四年四月八日

…

一、早晚伏見江戸宰相殿・森右近家等火事也、右近ヨリ火出也 云々、

…

【義演准后日記】

3 慶長四年十二月廿九日

…

未刻伏見舟入辺ノ諸大名家、数ヶ所焼失・不敷、天魔所行、諸人狼籍、近年之大火事也、

【義演准后日記】

第5層の整地層から埴輪・須恵器が出土したことで、過去の周辺での調査結果で古墳を検出していることから、古墳時代の遺構が存在する可能性がある。

伏見城下の火災について

既述したように、調査地では少なくとも2回の大火災を受けていることが判明した。検出遺構が16世紀末から17世紀初めのものであるという点と、伏見城下であることに限定して史料の収集に努めた。その結果、7回の大火災があったことが判明した。以下、その史料を挙げてみることにする。

4 慶長五年九月廿日

…

伏見大名屋形焼失、終夜焼了、大阪へノ覚カ、

…

〔義演准后日記〕

5 慶長八年九月廿七日

伏見主計屋形悉焼失

〔義演准后日記〕

6 慶長十年十二月廿六日

…

此日酉刻、伏見火事出来、有馬玄番長屋寄り出て、浅野弾正、会津飛騨、松平飛騨、彦坂平介、大久保主殿助、同石見守、板倉伊賀守、真田隠岐、遠山民部失火、其外たちうり町通焼失、

〔当代記〕

7 慶長十六年十一月十七日

未刻伏見新町より火出、岡替町焼、其より大名衆屋敷二十計及類火、但去夏よりこほし残の家共也、

〔当代記〕

以上7回の火災記事がある。1の羽柴久太郎は堀秀治とされており、調査地に隣接する。2は森忠政宅から結城秀康宅まで火災が及んでいる。3では舟入周辺での大火の様子を記している。4はいわゆる関ヶ原の合戦の前沙戦にあたり、徳川家康が火を放ったものである。5は宇治川沿岸部にあったと推定される加藤清正邸が焼失した記事。6は伏見城南部、現在の観月橋付近から発生した大規模な火災である。7は大坂冬の陣後徳川政權が確立した後、城下町を整備中の火災である。

史料としての信憑性は乏しいとされているが、『豊公伏見城ノ図』とを対比してみても、これらを検討して火災の範囲を推定してみたのが図30である。それぞれがどのように対応するかは明確ではないが、このような史料から、調査地での火災は史料1、2、4、7の記事にその可能性が求められる。

尚、伏見城の火災記事に関する史料は京都市歴史資料館の協力を得た。

# 豊公伏見城ノ圖

本圖は、豊公伏見城の遺跡調査報告書より、  
近年の地誌本誌の資料をもとに作成した。



図30 伏見城下町の火災

番号は本文中の史料番号と一致する  
『伏見桃山の文化史』加藤次郎より

## VII 主要な出土遺物

### 1. 土器類

#### 平安京左京五条三坊 (HL22) (図版10-22、図31-1)

調査地は下京区仏光寺通烏丸西入釘隠町246に所在する。当該地は平安京左京五条三坊十一町に相当するところである。1988年5月9日に建物基礎工事の立会調査を行ったところ、地表下2.15mにて古墳時代後期の遺物包含層を検出した。この包含層より須恵器の短頸壺が1個体完存品で出土した。

短頸壺(1) 肩部に2条の凹線を施す。体部下半から底部全体にクロロヘラ削りを行う。体部下半に自然釉が掛かる。胎土は緻密で黒灰色を呈し一部セピア色である。色調は内面黒灰色、外面オリーブ灰色。

#### 平安京左京七条三坊 (HL128) (図版10-128、図31-2～12)

調査地は下京区烏丸通六条下る北町183-3、4に所在する。当該地は平安京七条三坊九町に相当し六条院跡に推定されるところである。1988年10月11日に立会調査を行ったところ地表下1.4mにて井戸跡1基検出した。井戸枠は確認できなかったが井戸内より多量の土器類が出土した。

土器器皿(2～8) 大2種類、小1種類ある。小型のものは口径が8cm前後器高が1.5～1.8cmを測る。大型のものは口径が12cm弱器高が2cm程のものと口径が12～13cm器高が3cm前後のものがある。

瓦器(9・11・12) 9は口縁端部が強く外反する。口径6.8cm、残存高2.1cm。11の鍋はほぼ完形である。底部内面にコゲ跡が残る。口径22.3cm器高21.0cm。12の羽釜は口径21.7cm、口径が25.1cmを測る。

白磁皿(10) いわゆる口禿である。胎土には黒色微粒子を多量に含む。釉調はオリーブ灰色を呈する。口径10.5cmを測る。

#### 平安京左京六条三坊 (HL67) (図版10-67、図31-13)

調査地は下京区松原通新町東入中野之町172に所在する。当該地は平安京左京六条三坊八町に相当する。1988年6月17日に建物基礎工事の立会調査を行ったところ地表下1.16mより赤絵鉢1点が出土した。

赤絵鉢(13) 「魁手」と呼ばれるものである。高台底部及び内側に釉薬はつけない。底部に

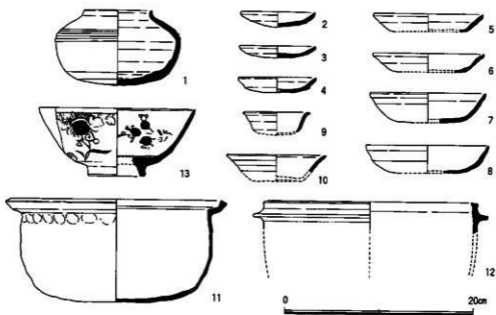


図31 遺物実測図 (1/4)

離れ砂使用。胎土は磁器質で灰白色を呈する。

## 2. 瓦 類

### 軒丸瓦

単弁八葉蓮華文軒丸瓦(図32-14) 平安京右京一条二坊七町跡(HR94)出土。中房に1+6の蓮子、珠文帯には16個の珠文を配す。胎土は小石、砂粒を含み粗い。色調は内面灰色、外面黒灰色を呈する。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦(図32-15) 平安宮太政官跡(62年度HQ92)出土。中房に1+4の蓮子、珠文帯には11個の珠文を配す。胎土は小石、砂粒を含み粗い。焼成は甘く、色調は内面黄灰色、外面暗灰色を呈する。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦(図32-16) 平安京左京五条三坊四町跡(62年度HL268)出土。二重の外区をもち、内側に珠文帯、外側に唐草文を配す。珠文は密に並べ、唐草は右廻りに転回する。胎土は小石を含み粗い、暗灰色を呈する。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦(図32-17) 白河街区跡(KS22)出土。中房は盛り上がり、外側に一重の界線が巡る。中房近くの各弁間に珠文を配す。瓦当外周・裏面は丁寧なナデ調整を

施す。胎土は小石を含み精良、焼成は堅く淡灰色を呈する。

三巴文軒丸瓦 (図32-18) 白河街区跡 (KS22) 出土。右巻きの三巴文である。周縁は低い。丸瓦部凸面と瓦当の接着部は顕著な指ナデ調整を施す。胎土は白色砂粒を多く含む精良、焼成は良好で内面灰白色、外面黒灰色を呈する。

三巴文軒丸瓦 (図32-19) 仁和寺院家跡 (UZ24) 出土。右巻きの三巴文である。瓦当周縁

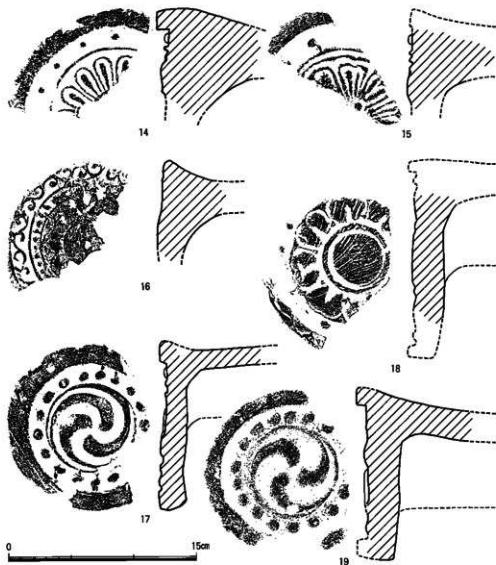


図32 軒瓦拓影・実測図 (1/3)

及び瓦当裏面は平滑に仕上げる。胎土は砂粒を含み精良、内面黄灰色、外面黄灰色を呈する。

### 軒平瓦

唐草文軒平瓦 (図33-20) 平安京左京四条一坊十三町跡 (62年度 HL279) 出土。花頭形の中心文に対向C字形の中心側文がつく外行3転式である。胎土は砂粒を含み精良、焼成はやや甘く淡灰色を呈する。平城宮式6639C系である。

唐草文軒平瓦 (図33-21) 平安宮大極殿院跡 (HQ77) 出土。逆「小」字形の中心文に対向蟹爪・C字形の中心側文がつく外行3転式である。胎土は小石、砂粒を含み精良、内面淡灰色、外面暗灰色を呈する。平城宮式6732系である。

唐草文軒平瓦 (図33-22) 平安京右京九条二坊三町跡 (HR100) 出土。逆「小」字形の中

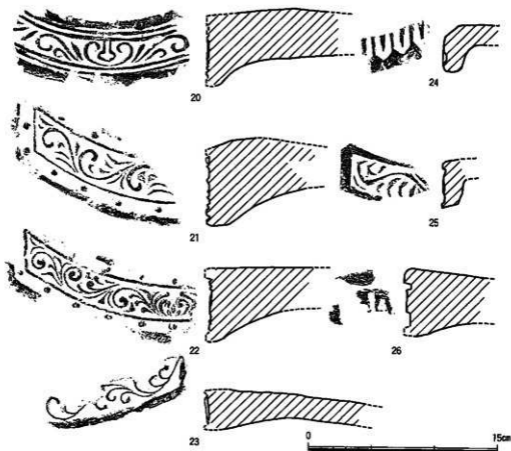


図33 軒瓦拓影・実測図 (1/3)



心文に二重の対向C字形の中心側文がつく外行3転式である。胎土は小石、砂粒を含み粗い、焼成甘く、内面暗黄灰色、外面黒灰色を呈する。

唐草文軒平瓦(図33-23) 仁和寺院家跡(UZ24)出土。内行3転式である。瓦当外周下部はヨコ方向のヘラ削り、平瓦部凸面はタテ方向のナデ調整。瓦当部上縁はヨコ方向のヘラ削り、平瓦部凹面は目の細かい布目痕。胎土は緻密、内面灰白色、外面淡灰色を呈する。

刺頭文軒平瓦(図33-24) 白河街区跡(KS22)出土。瓦当上縁部及び頸部はヨコ方向のヘラ削り。瓦当面に布目痕残る。折曲げ式である。胎土は小石、砂粒を含み精良、内外面ともに暗灰色を呈する。

唐草文軒平瓦(図33-25) 円勝寺跡(KS32)出土。外行3転式である。瓦当部上縁をヨコ方向にヘラ削りする。平瓦部凹面の布目は細かい。折曲げ式である。胎土は砂粒を多く含む精良、内面灰白色、外面黒灰色を呈する。

梵字文軒平瓦(図33-26) 白河街区跡(KS22)出土。五文字の梵字を配す。頸部は段をなさない。瓦当上縁部まで布目痕がつく。胎土は小石を含み精良、内面淡灰色、外面暗灰色を呈する。

### 3. 石器類

大型鉾刃石斧(図34-27) 中久世遺跡(MK2)出土。南区久世中久世町3丁目68の地に於て事務所兼倉庫が建設されることになり、当地は弥生時代から中世にかけての遺跡に該当するため、事前に試掘調査を実施した。調査の結果、現地表下1.0mでは、調査地の大半が弥生時代中期の土器を大量に包含する旧流路内の堆積土である事が判明した。

石斧はこの流路の堆積土である砂礫層からのものである。石質は砂岩で、幅7.6cm、残存長7.1cmを測る。遺物の残存状況は極めて悪く、研磨の痕跡が僅かに識別できる程度である。

翼状剥片(図34-28) 法勝寺跡(KS11)出土。左京区岡崎法勝寺町55他に於てスタンフォード日本センター研修所の建設に先立って試掘調査を実施した。調査の結果、寺院に関連する遺構の存在は認められず、調査区全域は流路状の堆積土であった。埋土は砂を主体としており、出土遺物も中～近世のものが少量であった。

翼状剥片は砂層からの出土である。長さ6.8cm、幅3.7cm、厚さ1.1cmを測り、サヌカイト製である。刃部は片面を打欠き、先端部より約2/3を刃部とする。

打製石鏃(図34-29) 中久世遺跡(MK7)出土。南区久世中久世町4丁目4に於てマン

ションが建設されることとなり、1の場合と同様、中久世遺跡に当るため、立会調査を実施する事となった。調査の結果、北西から南東にかけての流れをもつ弥生時代後期の溝を確認した。

石鏃は埋土より少量の土器と共に出土する。法量は長さ4.8cm、最大幅1.2cmを測り、石質はサヌカイトである。柄部の一部は破損しているものの、ほとんど完形である。断面は菱形を呈している。

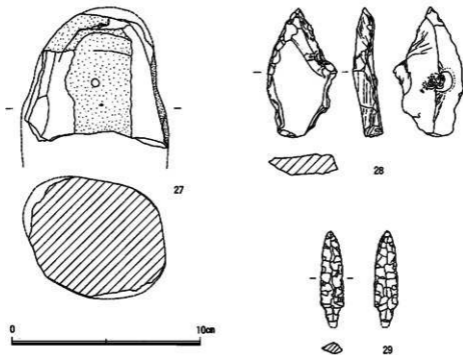


図34 遺物実測図 (1/2)

# 調査一覧表

## I 62年度1～3月期

### 平安宮 (H Q)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
朝堂院	中、聚楽園南町30-25, 31-26	立	1/12	検出できず。	2 - 74
	上、千本通竹屋町下る聚楽町83-40	立	3/23	盛土のみ。	2 - 95
登楽院	中、聚楽園西町63	立	2/10	盛土のみ。	2 - 83
	中、聚楽園西町74-4・6	試	2/25	GL-0.3mにて聚楽土層。推定清巻堂基礎。発掘調査に切り換える。	2 - 87
太政官	上、竹屋町通千本東入主税町1101	試	3/11	GL-0.9mにて平安前期～中期の包含層、整地層、柱穴10。発掘調査に切り換える。本文38ページ。	2 - 92
内裏	上、土屋町通出水下る西神明町346-9	立	2/26	盛土のみ。	2 - 88
	上、出水通智恵光院西入田村備前町236-5	立	3/25	検出できず。	2 - 96
園林坊	上、出水通千本東入西神明町338	試・立	2/5, 3/17	GL-0.55mにて平安前期の包含層-1.02mにて時期不明の整地層。発掘調査に切り換える。	2 - 94
	上、下立売通千本西入福楽町442-4	試	1/8	GL-0.3m以下包含層5、重町2、江戸3。	2 - 73
造酒司	中、聚楽園西町163-49	立	2/20	検出できず。	2 - 85
	中、聚楽園松下町11-4	立	2/22	検出できず。	2 - 86
兵衛寮	上、一条通七本松西入東町35-3	立	3/10	検出できず。	2 - 91
右馬寮	中、西ノ京右馬寮町1-41	立	1/29	盛土のみ。	2 - 80
内蔵寮	上、千本通下長者町下る福島町380	試	3/17・23-24	GL-0.7mにて平安前期の整地層、溝、小穴群。	2 - 93
	上、下長者町通千本東入二本松町20	立	1/21	検出できず。	2 - 78
大蔵	上、中立売通千本東入丹波屋町351-1他	立	1/21	盛土のみ。	2 - 79
	上、上長者町通千本東入借通町476-2	立	2/5	盛土のみ。	2 - 82
	上、仁和寺街道御前西入下笠町65-49	立	1/13	GL-1.09mにて時期不明の包含層。	2 - 76
	上、上長者町通千本西入五番町158-1・2	立	1/18	GL-0.2mにて江戸の整地層。	2 - 77
内匠寮	中、西ノ京左馬寮町25-5	立	2/18	盛土のみ。	2 - 84
	中、西ノ京内畑町24-10	試	3/8	GL-0.3mにて平安の瓦を多量に包含する湿地地塊。	2 - 90
大歌所 宴の松原	上、六軒町通出水上る西入七番町344-2	立	2/4	検出できず。	2 - 81
	上、下立売通七本松東入長門町435-32	立	1/13	盛土のみ。	2 - 75

### 平安京右京 (H R)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺二坊 三町	上、一条通御前西入西町167-2・3	立	1/13	検出できず。	4 - 168
北辺二坊 七町	北、大將軍東横町117	立	2/25	GL-1.22mにて平安の路面。	4 - 190
一条二坊十二町	中、西ノ京四町21-1他	立	2/20	GL-1.62mにて江戸の土壌。	4 - 186
一条三坊十四町	右、花園園南町15-54	立	2/4	GL-0.55mにて時期不明の土壌。	3 - 177
二条二坊 一町	中、西ノ京上平町64	立	2/24	GL-0.3mにて江戸の溝。	4 - 189
二条二坊十三町	中、西ノ京南上合町28	立	3/23	GL-0.73m以下平安前期・中期の包含層各1。	4 - 209
二条三坊 四町	中、西ノ京南壺井町44	立	1/26	検出できず。	3 - 175
三条一坊十五町	中、西ノ京西月光町27-5他	立	1/25	検出できず。	4 - 173
三条二坊 二町	中、西ノ京御膳町37-2	立	3/28	GL-0.8mにて平安中期の包含層。	4 - 211
三条二坊十六町	中、西ノ京東中合町1 西京商業高校	立	3/18	GL-1.32m以下平安中期の湿地地塊。	4 - 205

三条四坊 五町	右、山ノ内宮前町25-6	立	3/18	GL-0.95mにて平安前期の南北溝。推定富樫小路東側溝。	3-206
四条一坊十一町	中、壬生森町9-6	立	3/23	検出できず。	8-208
四条二坊 七町	中、壬生西大竹町27	立	1/12	GL-0.65mにて平安前期の土壌2柱穴。	8-167
四条二坊十一町	中、壬生湖田町8-1・2・3	立	3/31	GL-0.3mにて時期不明の包含層。	8-213
四条二坊十六町	右、西院西今田町10	試	2/29	GL-0.65mにて平安前期～鎌倉の南北流路。平安前期の柱穴7。発掘調査に切り換える。	8-195
四条三坊十一町	右、西院春榮町36	立	3/16	GL-0.97mにて時期不明の包含層。	7-204
。	右、山ノ内池尻町16-5	立	1/12	検出できず。	7-166
五条一坊十一町	中、壬生下溝町13-4	立	2/26	GL-0.7mにて平安前期の井戸。	8-193
五条二坊 二町	中、壬生土原ノ内町34-4	立	3/29	GL-0.44mにて時期不明の土壌5。	8-212
五条三坊 八町	右、西院松井町4	立	3/31	GL-0.57m以下平安の池状堆積。	7-214
五条四坊 二町	右、西院日懸町28-2	試	3/7	検出できず。	7-200
五条四坊 六町	右、西院安塚町89-3・4、他	立	1/13	盛土のみ。	7-169
五条四坊十三町	右、西院西田町47、48、56	試	3/15	GL-0.25mにて時期不明の南北溝。	7-202
六条一坊 二町	下、中堂寺北町16-1	試	3/23	GL-1.0mにて推定六条坊門小路北側溝。平安末期の路面、時期不明の土壌3。	8-207
六条一坊 六町	下、中堂寺北町地先	立	2/15	GL-0.9m以下平安前期・時期不明の包含層。	8-288
六条二坊 五町	下、西七条東御前町13、14他	試	2/15	GL-0.5mにて平安前期の湿地堆積。	8-182
六条二坊十五町	右、西院西高田町30	立	1/21	盛土のみ。	8-170
。	右、西院西高田町6	試	2/12	GL-0.56mにて平安の包含層。	8-179
六条三坊 八町	右、西院西舟町8	立	3/31	GL-1.05mにて推定五条大路の路面、時期不明。	7-215
六条四坊 四町	右、西院六反田町13-1・2・3・4	試	2/19	GL-1.0m湿地堆積。	7-185
六条四坊十三町	右、西京極西大丸町19	立	1/23	GL-0.2m以下時期不明の流れ堆積。	7-172
。	右、西京極西大丸町27-2・3	立	3/2	検出できず。	7-198
六条四坊十五町	右、西京極葛野町38	立	1/7	盛土のみ。	7-155
七条二坊 七町	下、七条西石ヶ坪町60、70	試	3/10	GL-0.88mにて江戸の東西溝3。	8-201
七条二坊十五町	下、西七条名倉町14、15	試	3/24	GL-0.42mにて推定七条坊門小路北側溝。発掘調査に切り換える。	8-210
七条三坊 九町	右、西京極北庄境町12	立	1/9	GL-1.07m以下包含層3、平安前期・中期・時期不明各1。	7-165
七条三坊十五町	右、西京極町ノ坪町25	立	1/21	GL-0.78m以下湿地堆積。	7-171
七条四坊 二町	右、西京極町ノ坪町4-1・2	立	3/31	GL-1.12mにて時期不明の包含層。	7-216
七条四坊 西町	右、西京極東中島町30	立	3/2	盛土のみ。	7-197
七条四坊 七町	右、西京極呼野町63他	立	2/27	検出できず。	7-194
七条四坊 十町	右、西京極東池田町地先	立	2/12	溝底のみ。	7-180
八条一坊十四町	下、梅小路本町地先	立	2/22	GL-0.71m以下室町・時期不明の包含層各1。	12-188
八条一坊十五町	下、西七条西久保町23他	試	2/1	GL-0.4mにて平安の包含層。	12-176
八条二坊 五町	下、梅小路西中町11-2	立	2/25	GL-0.88mにて平安前期～中期の湿地堆積。	12-191
八条二坊十一町	下、七条御所ノ内中町63、64、65	試	1/25	GL-0.46mにて時期不明の包含層。	11-174
八条三坊 一町	下、西七条南月鼓町74	立	2/8	運回時工事終了。	11-178
八条三坊 三町	下、七条御所ノ内西町31-2	立	3/15	盛土のみ。	11-203
八条四坊 四町	南、吉祥院向田東町3-2-2	立	2/17	GL-0.85m以下時期不明の流れ堆積。	11-184
八条四坊十四町	右、西京極芝ノ下町8-103	立	2/25	盛土のみ。	11-192
九条二坊 三町	南、唐橋平塚町68-10	立	2/29	GL-0.58mにて時期不明の包含層。	12-196

九条三坊十一町	南、吉祥院西ノ庄西中町46	立	2/16	検出できず。	11 - 183
九条三坊十四町	南、吉祥院中河原西儀敷町32	立	2/13	G.L.-0.87m以下時期不明の流れ堆積。	11 - 181

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
北辺二坊 二町	上、上長者町通黒門西入榎町390-1	立	3/8	G.L.-1.25mにて室町の包含層。	5 - 306
北辺二坊 三町	上、扇屋町通上長者町上る南儀町324	立	2/18	G.L.-1.4mにて室町の包含層。	5 - 291
北辺二坊 七町	上、上長者町通小川西入有誓町175	立	2/16	G.L.-1.3mにて鎌倉の包含層。	5 - 289
北辺二坊 八町	上、小川通一条下る小川町196他	試	1/22	G.L.-1.0mにて室町〜江戸の土壌7、小穴5、溝1。発掘調査に切り換える。	5 - 267
一条二坊 一町	上、旧大宮通下長者町上る藤五郎町583	立	2/12	盛土のみ。	5 - 282
一条二坊 四町	上、黒門通下立売下る森中町596	立	1/28	盛土のみ。	5 - 271
一条三坊 五町	上、衣懸通下立売下る東立売町230-5	立	3/4	検出できず。	6 - 305
一条三坊 七町	上、衣懸通下長者町下る御堂町70-3	立	2/27	検出できず。	6 - 299
一条三坊 十町	上、室町通出水上る東入近衛町53-1	立	2/20	検出できず。	6 - 294
一条三坊十三町	上、京都御苑438-1	試	2/24	G.L.-0.25mにて墓石1、-0.7m以下時期不明の溝。	6 - 296
二条二坊 二町	上、丸太町通藤西入裏屋町536-1待賢小学校	立	1/7	盛土のみ。	5 - 262
二条二坊 五町	中、二条城町541	立	1/16	G.L.-1.5mにて鎌倉の落ち込み。	5 - 265
二条二坊 七町	上、丸太町通黒川西入西丸太町183	立	1/7	G.L.-1.3mにて時期不明の土壌2。	5 - 261
二条二坊 十町	中、東福川通丸太町下る七町目4	立	3/18	G.L.-1.45mにて室町の土壌、-1.75mにて弥生の流れ堆積。	5 - 316
二条三坊 九町	中、丸太町通鳥丸西入常真横町190-2-3	立	3/28	G.L.-0.3m以下江戸の包含層。	6 - 323
二条三坊十三町	中、車屋町通二条上る真知堂町313、314-2	立	2/12	G.L.-1.7mにて室町の土壌。	6 - 280
二条四坊 四町	中、塚町通二条上る亀屋町171	立	1/9	G.L.-1.65mにて時期不明の落ち込み。	6 - 263
二条四坊 六町	中、堺町通竹屋町下る網屋町120	立	2/2	検出できず。	6 - 274
*	中、麩屋町通竹屋町上る舟屋町136他	試	3/18	G.L.-1.24mにて室町の包含層、-1.42mにて室町後期の池状堆積。	6 - 314
三条一坊 七町	中、西ノ京北型町39-1-1	立	2/24	G.L.-0.35mにて平安の包含層。	5 - 297
三条二坊 三町	中、脚池通黒門西入大文字町245-1	立	3/25	G.L.-1.0mにて平安後期の湿地堆積。	5 - 322
三条三坊 二町	中、釜座通脚池上る橋之町745-1他	立	1/25	G.L.-1.35m以下室町の湿地堆積。	6 - 269
*	中、釜座通脚池上る下松屋町726	立	2/8	G.L.-1.05m以下時期不明の踏面5。	6 - 278
*	中、釜座通神小路下る下松屋町710-1他	立	3/14	近世層内にとどまる。	6 - 311
三条三坊 八町	中、衣懸通二条下る上妙覚寺町228	立	3/24	巡回工事終了。	6 - 321
三条三坊 九町	中、室町通二条下る船業師町272	立	1/26	G.L.-1.1mにて土壌5、鎌倉1、室町2、江戸2。	6 - 266
三条三坊十二町	中、三条通鳥丸西入御倉町79	立	3/4	G.L.-0.61mにて室町の包含層。	6 - 304
三条三坊十五町	中、東洞院通脚池上る船屋町415、417	立	3/7	G.L.-1.5m以下江戸の包含層。	6 - 307
三条四坊十二町	中、柳馬場通三条上る油屋町	立	2/29	G.L.-1.85mにて江戸の包含層。	6 - 300
四条一坊十三町	中、壬生坊城町2-2	試	2/10	G.L.-0.78mにて平安後期・鎌倉の土壌各1。本文40ページ。	9 - 279
四条二坊 九町	中、油小路通六角上る三条油小路町181	立	3/31	G.L.-1.73mにて室町の包含層。	9 - 324
四条二坊 十町	中、六角通堀川東入越後町188-2	立	2/12	G.L.-1.05mにて時期不明の包含層。	9 - 284
四条二坊十二町	中、履ヶ井通四条上る藤西町593	立	3/15	G.L.-2.1mにて時期不明の柱穴。	9 - 312
四条二坊十三町	中、油小路通四条上る藤本町546	立	2/12	G.L.-1.56mにて平安末期の土壌。	9 - 285
四条二坊十六町	中、三条通油小路東入堀屋町49	立	2/12	G.L.-0.7mにて時期不明の土壌2、-1.0mにて平安の整地層、推定三条大路踏面。	9 - 283
四条三坊 四町	中、錦小路通新町西入下る炭之座町262	立	2/1	G.L.-0.86mにて江戸の包含層。	10 - 273
四条四坊 五町	中、錦小路通藤馬場西入中魚屋町482	立	2/18	検出できず。	10 - 292

四糸四坊 七町	中、高倉通六角下る和久屋町345-2	立	3/23	GL-2.1mにて時期不明の土壌。	10-319
四糸四坊 九町	中、六角通越屋町西入大黒町90	立	2/19	GL-0.93m以下時期不明の路面10 推定高小路、-1.36mにて平安中期 の包含層。	10-293
四糸四坊 十町	中、六角通高小路西入大黒町72-1他	試	2/22	GL-2.46mにて江戸の包含層。	10-295
四糸四坊 十三町	中、越屋町通越小路下る杵屋町514	立	1/27	GL-1.9m以下鎌倉・室町の包含 層各1。	10-270
四糸四坊 十三町	下、四糸通御幸町西入奈良物町370	立	3/19	GL-0.53m以下時期不明の流れ堆積。	10-318
*	下、四糸通御幸町東入奈良物町368-2	立	3/31	GL-0.9mにて時期不明の包含層。	10-325
五糸一坊 八町	中、壬生賀陽御所町64-18	立	1/14	GL-1.07mにて時期不明の包含層。	9-264
五糸一坊 十町	中、壬生賀陽御所町29-5他	試	2/5	GL-0.8mにて室町~江戸の土壌 多数。発掘調査に切り替える。	9-275
五糸一坊 十五町	下、大宮通越小路下る横大宮町63	立	3/18	GL-0.6mにて時期不明の土壌。	9-315
五糸三坊 四町	下、新町通高辻下る御影町450, 450-1	立	1/25	GL-1.42mにて平安後期・鎌倉の 土壌各1。本文38ページ。	10-268
五糸四坊 一町	下、東洞院通四糸下る元應王子町47-4	立	3/2	GL-0.5m以下江戸の包含層2。	10-302
五糸四坊 二町	下、高倉通仏光寺上る西館町367	立	3/2	GL-0.3m以下江戸の包含層。	10-303
五糸四坊 六町	下、高辻通柳馬場西入泉正町462	立	1/6	GL-1.8mにて平安前期の包含層。	10-260
五糸四坊 十一町	下、柳馬場通仏光寺下る仏光寺東町107-3	立	3/19	盛土のみ。	10-317
六糸一坊 三町	下、中堂寺坊城町2-2, 3-1	試	2/24	GL-0.6mにて江戸の東西溝。	9-298
六糸三坊 二町	下、新宮通五糸上る布屋町97	立	2/17	GL-0.96mにて江戸の包含層。	10-290
六糸四坊 四町	下、期之町通五糸下る徳御師町105	立	2/16	検出できず。	10-286
六糸四坊 十五町	下、寺町通五糸上る西横町761	立	3/15	GL-1.8m以下時期不明の流れ堆積。	10-313
六糸四坊 十六町	下、寺町通松原下る横松町706	立	3/11	GL-0.95mにて江戸の包含層。	10-310
七糸一坊 十五町	下、下松屋町通花屋町下る突抜二丁目371	立	2/15	GL-0.62mにて平安中期の包含層	9-287
七糸四坊 十一町	下、西水屋町通正面下る八王子町107	立	3/7	GL-0.84m以下時期不明の流れ堆積。	10-308
八糸一坊 一町	下、観音寺町10-24	立	2/29	検出できず。	11-301
八糸一坊 十六町	下、大宮通七糸下る上之町417	立	2/10	GL-0.95mにて時期不明の南北溝。	11-281
八糸二坊 十町	下、柳川通堀小路上る北不動堂町479	立	2/6	盛土のみ。	11-276
八糸三坊 十六町	下、不明通七糸下る東堀小路町735-2	立	2/8	GL-1.28m以下鎌倉・時期不明の 包含層各1。	12-277
八糸四坊 二町	下、堀小路通東洞院東入東堀小路町684	立	3/24	GL-0.78mにて古墳前期の流れ堆積。	12-320
九糸三坊 十一町	南、東九糸北丸九町地先	立	3/9	GL-1.35m以下時期不明の流れ堆積。	12-309
九糸四坊 十四町	南、東九糸南河原町3-4-5	立	2/1	盛土のみ。	12-272

## 太秦地区 (U Z)

遺跡名	所在地	試立	調査日	概要	図版番号
西野町遺跡	右、太秦西野町地先	立	2/16	巡回工事終了。	- 18
*	右、堀崎野千代ノ道町地先	立	1/18	検出できず。	- 32
*	右、堀崎野芝野町地先	立	2/22~ 3/31	検出できず。	- 33
常盤東ノ町古墳群	右、常盤村ノ内町1-17	立	3/4	GL-0.26mにて時期不明の包含層。	- 40
広隆寺旧境内	右、太秦東峰町10	立	1/12	検出できず。	- 31
*	右、太秦榎ヶ原町17	立	3/7	GL-0.35mにて平安後期の土壌。	- 43
段ノ山古墳	右、梅津段町30-5	立	3/19	検出できず。	- 44
上ノ段町遺跡	右、太秦榎ヶ辻町11-31	立	3/23	検出できず。	- 45

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北野遺跡	上、一条通御前西入西町46	立	1/12	検出できず。	- 40
	上、今小路通御前西入板屋川町1039-32	立	1/25	盛土のみ。	- 43
同志社大学新町校地内遺跡	上、立上松通新町西入西大路町79	立	2/1	G.L.-0.7m以下時期不明の路面16、-1.54mにて室町の包含層。	- 44
岩倉中在地遺跡	左、岩倉村松町先	立	2/10	巡回時工事終了。	- 45
北野麻寺	北、北野下白梅町65	立	3/3	G.L.-1.2mにて野寺の東原築地に伴う溝。	- 46
相国寺旧境内	上、相国寺門前町670-1	立	3/11	盛土のみ。	- 47

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
京都大学 北部構内遺跡	左、北白川追分町80-1他	立	1/11	G.L.-0.7mにて室町の包含層、-1.0mにて弥生の流れ堆積、-2.7mにて縄文後期～弥生前期の湿地堆積。	- 23
草膳寺跡	左、北白川追分町地先	立	2/29	G.L.-0.51mにて時期不明の包含層。	- 30
	左、岡崎西天王町98	立	1/8	擾乱のみ。	13 - 22
白河北殿跡	左、岡崎西天王町地先	立	2/12	検出できず。	13 - 27
	左、東丸太町41-6	立	2/24	G.L.-0.4m以下江戸の包含層2。	13 - 28
岡崎遺跡	左、岡崎円勝寺町91-2	立	2/26	G.L.-1.42mにて平安後期の流れ堆積。	13 - 29
白河街区 南禅寺境内遺跡	左、東丸太町46-4	立	2/8	擾乱のみ。	13 - 26
法成寺跡	左、南禅寺福地町86	立	1/25	検出できず。	- 24
法成寺跡	上、河原町通粟持口上る西入宮垣町78-4	立	1/28	G.L.-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	- 25

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
平安京跡 隣接地	中、寺町通丸太町上る下御堂前町631	立	1/8	G.L.-1.75m以下時期不明の包含層3。	- 44
法性寺跡	東、泉涌寺五藤ノ辻町13-16	立	1/9	G.L.-0.53mにて室町の包含層、-0.75mにて平安末期の東西溝。	- 45
山科本願寺跡	東、今熊野柳ノ森町712	立	2/22	検出できず。	- 49
	山、西野大手洗町16-1	立	2/2	検出できず。	- 47
中臣遺跡	山、勤修寺東薬師野町2-1	立	1/11	検出できず。	13 - 46
正覚寺跡	山、西野山中臣町26-50	立	2/16	検出できず。	13 - 48
	山、西野山中臣町26-55	立	3/8	検出できず。	13 - 50
伏見城跡	伏、深草親成町地先	立	1/18-23	検出できず。	- 58
	伏、深草園土町地先	立	1/23-26	擾乱のみ。	- 59

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
伏見城跡	伏、京町北八丁目71	立	1/7	G.L.-0.2mにて江戸の南北溝。	- 46
+	伏、桃山町永井久太郎	立	1/11	検出できず。	- 47
	伏、桃山伊藤部西町7	立	1/11	盛土のみ。	- 48
+	伏、深草大亀谷安借町42他	立	1/14	盛土のみ。	- 50
+	伏、桃山町本多上野地先	立	1/23	G.L.-0.72mにて時期不明の落ち込み。	- 53

伏見城跡	伏、桃山町立売37	立	1/28	GL-0.45mにて桃山の土壌。	- 54
	伏、桃山町伊庭地先	立	2/1、 3/19	GL-1.35m以下湿地堆積。	- 55
	伏、桃山井伊掃部東町38	立	2/3	検出できず。	- 56
	伏、桃山町松平筑前1-1	立	2/3	掘削なし。	- 57
	伏、桃山町新町地先	立	2/16	擾乱のみ。	- 58
	伏、京町南八丁目105-5-6	立	2/16	GL-0.85mにて近世の包含層。	- 59
	伏、桃山町伊庭地先	立	2/17	巡回時工事終了。	- 60
	伏、麩屋町地先	立	2/19	検出できず。	- 61
	伏、桃山町三河55他	立	3/2	GL-0.2mにて時期不明の包含層。	- 63
	伏、豊後橋町69-1他	試	3/4	GL-2.6m以下江戸中期の流れ堆積。	- 64
	伏、桃山井伊掃部東町16	立	3/5	検出できず。	- 65
	伏、深草大亀谷万輪敷町90、90-3	立	3/7	GL-0.83mにて時期不明の溝。	- 66
	伏、家町217	試	3/9	GL-1.0mにて江戸後期の湿地堆積。	- 67
	伏、新町四丁目465-1	試	3/11	GL-1.0mにて江戸の柱穴、土壌、東西溝各1。	- 68
	伏、桃山井伊掃部東町42	立	1/18	検出できず。	- 69
伏、京町三丁目183-1他	試	1/13	GL-0.5mにて江戸の土壌2。	- 70	
伏、弾正町地先	立	3/28	巡回時工事終了。	- 72	
深草坊町遺跡	伏、深草西出山町	立	3/28	検出できず。	- 71
法界寺境内	伏、日野西大通町16	立	1/21	検出できず。	- 51

## 鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
淀城跡	伏、淀下津町208-9	立	1/12	検出できず。	- 34
上鳥羽遺跡	南、上鳥羽北花名町9	試	2/8	GL-0.4m以下時期不明の流れ堆積。	- 35
鳥羽離宮跡	伏、中島嶺地町33-1	立	2/22	GL-1.0mにて江戸の包含層。	14 - 36
+	伏、竹田小屋/内町6-1・23	試	2/22	GL-0.3mにて池跡。	14 - 37
+	伏、竹田内畑町地先	立	3/8	検出できず。	14 - 40
深草遺跡	伏、深草西満町五丁目26	立	3/25	GL-0.64mにて弥生の溝。	- 38
唐橋遺跡	南、吉祥院九条町地先	立	3/29	検出できず。	- 39

## 南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中久世遺跡	南、久世中久世町一丁目141	試	1/20・26 ・27	GL-1.26m以下弥生の湿地堆積。	15 - 11
+	南、久世殿城町430	試	2/3	GL-1.65mにて河跡、-2.3mにて弥生~平安の包含層。発掘調査に切り換える。	15 - 12
+	南、久世殿城町136-6他	立	3/28	GL-0.64mにて時期不明の落ち込み。	15 - 14
大蔵遺跡	南、久世殿城町430	試	3/25	GL-0.6mにて室町の柱穴1、平安後期の井戸1。発掘調査に切り換える。	15 - 13



## 長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
長岡京跡 *	伏、羽東師古川町297-301	立	1/18	検出できず。	- 18
	伏、羽東師菟川町469	立	2/19	検出できず。	- 19
	伏、羽東師菟川町366-1	試	3/30	GL-1.4mにて平安の柱穴、溝。	- 20

## II 63年度4～12月期

## 平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
朝堂院 *	上、千本通二条下る東入主税町910-28	試	4/1	GL-1.2mにて平安の落ち込み。	2 - 1
	上、千本通行屋町下る聚楽町854	立	4/11	巡回時工事了。	2 - 3
	上、千本通丸太町上る小山町	試	5/11-13	GL-0.7mにて平安の瓦溜め。本文3ページ。	2 - 12
	中、聚楽園東町10-5	試	6/1	GL-0.8mにて平安の整地層。	2 - 24
	上、千本通丸太町下る主税町1187	立	6/2	巡回時工事了。	2 - 26
	中、聚楽園南町41-5	立	6/11	GL-0.55mにて江戸の包含層。	2 - 29
	上、丸太町通土屋町西入中務町491	試	9/27	検出できず。	2 - 59
	中、聚楽園東町31-4	立	10/12	GL-0.35mにて江戸の包含層。	2 - 63
	上、榎木町通千本東入小山町908-71	試	12/19	GL-1.7mまで江戸の層。本文40ページ。	2 - 77
	豊楽院 *	中、聚楽園南町19-20	立	5/23	検出できず。
中、西ノ京内畑町22		立	5/25	GL-1.45mにて凝灰岩片を含む時期不明の包含層。	2 - 21
中、聚楽園西町64-14		立	5/31	検出できず。	2 - 23
中、聚楽園中町50-13		立	7/21	盛土のみ。	2 - 36
中、聚楽園中町40-9		試	7/26	GL-0.7mにて平安の整地層。	2 - 39
中、聚楽園西町183		試	9/14	検出できず。	2 - 56
中、聚楽園中町53-11		試・発	10/21, 11/1-18	GL-0.4mにて平安の南北溝。推定豊楽院東面築地。発掘調査に切り換える。本文8ページ。	2 - 65
中、聚楽園西町74-4-6		発・立	4/7- 18, 8/23	GL-0.35mにて版築基壇と礎石の根固め痕。	2 - 48
太政官	上、千本通二条下る東入主税町998, 998-1	試・発	4/27, 5/11-23	GL-0.6mにて平安前期の東西溝、整地層。推定太政官北限溝。発掘調査に切り換える。	2 - 10
	上、土屋町通丸太町上る中務町409	立	11/21	検出できず。	2 - 70
桂芳坊	上、裏門通出水上る白旗町257-3	立	8/22	盛土のみ。	2 - 47
	上、千本通下立売下る小山町908-56	立	8/6	GL-0.15m以下平安・江戸の包含層各1。平安の整地層1。	2 - 43
真言院	中、聚楽園中町29-2	立	4/26	盛土のみ。	2 - 9
	上、下長者町通千本東入二本松町15	立	8/25	検出できず。	2 - 52
造酒司	上、土屋町通上長者町下る東入山王町511	立	12/1	盛土のみ。	2 - 74
	中、聚楽園西町173	立	4/12	検出できず。	2 - 4
中務省	中、聚楽園松下町11-10	試	8/8	検出できず。	2 - 44
	中、下立売通七本松東入長門町401	立	10/19	盛土のみ。	2 - 64
職御曹司	上、主税町地内	立	6/10	GL-0.25m以下時期不明の包含層2。	2 - 28
	上、賢恵光院通出水上る金馬場町175-6	立	10/6	巡回時工事了。	2 - 62
内膳司	上、出水通千本西入尼ヶ崎横町356	立	11/16	GL-0.6mにて平安前期の包含層。	2 - 68
	上、下長者町通七本松西入鳳鳴町242	立	4/25	検出できず。	2 - 8
典薬寮	中、聚楽園松下町3-31	立	7/6	検出できず。	2 - 34

典	左	馬	察	中、聚楽園松下町8-17	立	7/19	盛土のみ。	2	-	37
	右	馬	察	中、西ノ京左馬寮町9-22	立	8/23	検出できず。	2	-	49
				中、西ノ京右馬寮町8-31他	試	5/12	GL-0.9mにて室町の包含層。	2	-	13
				中、西ノ京右馬寮町16-1	試	5/25	GL-0.88mにて平安中期の湿地堆積。	2	-	20
				中、西ノ京右馬寮町17-3	試	10/3	GL-0.9mにて江戸の包含層。	2	-	61
内	藏	藏	察	上、下長者町通千本東入二本松町5	立	8/24	GL-0.3mにて時期不明の整地層。	2	-	50
				上、上長者町通千本東入愛染寺町487	試	5/18	盛土のみ。	2	-	16
				上、下長者町通裏門西入坤高町58-5	立	6/15	盛土のみ。	2	-	31
				上、下長者町通裏門西入坤高町86-3	試	9/21	検出できず。	2	-	57
				上、下長者町通裏門西入坤高町59-4	立	11/29	GL-0.3m以下江戸の包含層。	2	-	72
主	殿	察		上、中立亮通智恵光院東入新白水丸町462-66	立	6/28	盛土のみ。	2	-	33
				上、中立亮通智恵光院東入新白水丸町462-91	立	8/24	盛土のみ。	2	-	51
				上、一条通浄福寺東入南新在町343, 342-1	立	9/8	擾乱のみ。	2	-	60
茶	園	本		上、新白水丸町地先	立	11/21-22	擾乱のみ。	2	-	71
梨				上、裏門通上長者町下る亀水町222	立	4/27	検出できず。	2	-	11
				上、上長者町通浄福寺東入高台院町540-3	立	6/6	検出できず。	2	-	27
大	蔵			上、上長者町通千本東入信濃町478-3	立	4/14	盛土のみ。	2	-	6
				上、七本松通仁和寺街道上一番町105	立	4/12	GL-0.65mにて南北方向の江戸の溝。	2	-	5
				上、六軒町通一条下る西中筋町19	立	8/2	盛土のみ。	2	-	40
				上、千本通一条下る西中筋町19	立	8/8	盛土のみ。	2	-	45
				上、中立亮通千本東入丹波堀町341-1	立	6/13	遺留時工事終了。	2	-	30
				上、土屋町通一条下る東入東西使屋町668-4・5・15	立	8/9	盛土のみ。	2	-	46
				上、土屋町通中立亮上る田丸町379-6	立	10/25	盛土のみ。	2	-	66
				上、浄福寺通一条下る東西使屋町160	立	5/27	検出できず。	2	-	22
				上、浄福寺通一条下る東入東西使屋町16-1	立	8/3	盛土のみ。	2	-	41
				上、仁和寺街道六軒町西入四番町118-1	立	5/20	盛土のみ。	2	-	17
				上、仁和寺街道七本松東入一番町96, 96-1	立	8/29	GL-0.35mにて時期不明の整地層。	2	-	54
				上、仁和寺街道千本西入五番町161	試	7/25	GL-0.8mにて室町～江戸の柱穴土壌2。	2	-	38
				上、上長者町通千本西入五番町158-1・2	立	8/29, 9/1	GL-0.46mにて時期不明の落ち込み。	2	-	53
内	匠	察		中、西ノ京左馬寮町20-9	立	5/14	検出できず。	2	-	15
				上、御前通下立亮下る下之町424-4	立	5/23	検出できず。	2	-	19
				中、西ノ京左馬寮町28	試	9/2	GL-0.2mにて平安以前の土壌1。平安～江戸の溝・土壌6。範圍調査に切り換える。	2	-	55
宮	内	省		上、竹屋町通千本東入主税町1247-1	立	4/1	盛土のみ。	2	-	2
治	部	省		中、西ノ京内畑町11-16	立	11/18	検出できず。	2	-	69
彈	正	台		中、西ノ京内畑町24	立	7/13	GL-0.1mにて江戸の包含層。	2	-	35
大	歌	所		上、仁和寺街道六軒町西入因番町151-35	試	11/29	GL-0.6m以下江戸の包含層。	2	-	73
宴	の	松		上、七本松通出水下る七番町348	立	11/9	GL-0.25mにて時期不明の東西溝。	2	-	67
右	近	衛		上、御前通下立亮上る三丁目西上之町278	立	6/28	GL-0.2m以下時期不明の流れ堆積。	2	-	32
				上、御前通下立亮上る三丁目東入三助町280-36	立	8/4	盛土のみ。	2	-	42
				上、御前通下立亮上る仲之町299-11	立	9/21, 10/3	GL-0.7mにて室町、時期不明の土壌各1。	2	-	58
				上、御前通下立亮上る仲之町303-1	立	12/12	GL-0.4mにて時期不明の土壌。	2	-	75
左	近	衛	府	上、下長者町通大宮西入東辰巳町129-2	試	4/22	GL-1.0m以下江戸の包含層。	2	-	7
右	兵	衛	府	上、下立亮通七本松西入西京町350, 352	試	5/13	GL-0.64mにて時期不明の整地層。	2	-	14
武	部	省		中、聚楽園南町30-23	立	12/16	盛土のみ。	2	-	76
				中、西ノ京小堀町2-28	立	12/20	GL-0.26mにて平安の包含層。	2	-	78
並	所			上、智恵光院通出水下る分銅町555-1, 557	試	6/2	GL-0.9m以下江戸の包含層。	2	-	25

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
北辺二坊 四町	上、一条通御前西入三丁目西町43-1	立	12/12	GL-0.45mにて時期不明の包含層。	4 - 127
北辺三坊 一町	北、大將軍一条町117	立	12/12	盛土のみ。	3 - 128
北辺三坊 四町	北、大將軍一条町32-1	立	5/31	盛土のみ。	3 - 37
一条二坊 七町	上、御膳通西面上の立上光る北町556	立	9/28	GL-0.5mにて平安中期の包含層。 本文38ページ。	4 - 94
一条二坊 九町	北、大將軍東廣司町133	立	5/14	GL-0.2mにて時期不明の東西溝。	4 - 24
一条二坊 十町	中、西ノ京北円町15	立	5/6	GL-0.41mにて時期不明の土壌。	4 - 20
一条二坊十二町	中、西ノ京円町地先	立	7/21	GL-0.45mにて平安の包含層、 1.1mにて平安の盤地層。	4 - 59
一条二坊十三町	中、西ノ京円町15	立	11/29	盛土のみ。	4 - 120
一条二坊十四町	中、西ノ京北円町地先	立	4/16	擾乱のみ。	4 - 9
。	中、西ノ京北円町地先	立	5/24	GL-0.88mにて時期不明の包含層。	4 - 32
。	中、西ノ京北円町74	立	10/19-27	GL-0.62mにて時期不明の包含層。	4 - 98
一条三坊 十町	中、西ノ京馬代町3-15他	立	5/12	GL-0.72mにて平安前期の包含層。	3 - 23
一条三坊十一町	中、西ノ京馬代町6-16他	立	5/23	GL-0.5mにて家町の土壌。	3 - 29
一条四坊 九町	右、花園妙心寺町1	立	5/31	盛土のみ。	3 - 36
一条四坊十一町	右、花園寺ノ前町30	立	8/30	GL-1.08mにて時期不明の包含層。	3 - 77
一条四坊十二町	右、太秦安井小山町9-12	立	5/6	検出できず。	3 - 19
二条二坊 三町	中、西ノ京浄泉町122	試	11/18	GL-0.5mにて平安中期の土壌4、 室町の土壌1。発掘調査に切り換える。	4 - 117
二条二坊 五町	中、西ノ京笠殿町161-1	立	5/6	GL-0.78mにて平安前期の包含層。	4 - 18
二条二坊 八町	中、西ノ京円町37	立	4/11	検出できず。	4 - 6
二条三坊 二町	中、西ノ京中御門西町90	立	6/28	GL-0.78mにて火山灰層。	3 - 53
二条三坊 三町	中、西ノ京北壺井町25-3	立	5/26	GL-0.57mにて江戸の包含層。	3 - 33
。	中、西ノ京北壺井町67	試	12/14	GL-0.6mにて室町の包含層、-0.8 mにて平安中期の土壌、古墳後期の 溝。発掘調査に切り換える。	3 - 129
二条三坊 五町	中、西ノ京塚本町16-10	試	6/22	GL-0.22mにて平安の小穴2、土壌 1。	3 - 52
二条三坊十三町	中、西ノ京藤ノ木町10-19	立	4/20	GL-0.3mにて時期不明の土壌3、 柱穴2。	3 - 11
二条四坊十六町	右、太秦安井車道町21-15-16	立	8/22	GL-0.5mにて平安後期の柱穴3。	3 - 74
。	右、太秦安井車道町21-15	試	9/12	GL-0.15mにて雑舎の土壌1、小穴 4、室町の溝1、-0.3mにて時期不明の 包含層。	3 - 87
三条一坊 六町	中、西ノ京小倉町22	立	11/12	GL-1.53mにて沼伏堆積。	4 - 108
三条一坊十二町	中、西ノ京東月光町1-9	立	12/7	盛土のみ。	4 - 126
三条二坊 二町	中、西ノ京銅網町61	立	11/15	No1 GL-0.65mにて古墳前期の 包含層、No2 GL-0.6mにて平安 中期の小穴2。	4 - 113
三条二坊十三町	中、西ノ京三条坊町2-1他	立	8/12-18	GL-0.94mにて時期不明の落ち込 み。	4 - 71
。	中、西ノ京三条坊町2-4	試	12/7	GL-0.88にて江戸の湿地堆積。	4 - 125
三条二坊十四町	中、西ノ京下合町地先	立	8/18	GL-0.35m以下時期不明の流れ堆 積。	4 - 72
三条三坊十四町	中、西ノ京月輪町35	立	4/25	検出できず。	3 - 15
三条四坊 二町	右、太秦安井水戸田町12-6	立	9/14	盛土のみ。	3 - 90
四条一坊 二町	中、壬生天池町1-5	立	9/5	GL-0.72mにて江戸の包含層。	8 - 80
四条一坊 七町	中、壬生天池町25	立	5/6	検出できず。	8 - 17
四条一坊十三町	中、壬生森町56-13	立	9/9	GL-1.08m以下時期不明の包含層 2。	8 - 85

四条一坊十四町	中、壬生森町47	立	4/6	GL-0.6mにて時期不明の泥状堆積。	8-3
四条二坊 三町	中、壬生東大竹町38	試	6/6	GL-0.9m以下平安前期の湿地堆積。	8-42
四条二坊 四町	中、壬生東瀬田町5-6	立	5/20	盛土のみ。	8-28
四条二坊 九町	右、西院東今田町21	立	10/4	GL-0.28mにて時期不明の流れ堆積。	8-95
四条二坊十二町	中、壬生瀬田町1-2	立	5/23	GL-0.25m以下時期不明の流れ堆積。	8-30
四条二坊十四町	右、西院西今田町20-2	立	4/8-11	GL-1.0mにて平安の土壌3。	8-4
*	右、西院西今田町20-6-7-8	立	8/9,9/2	GL-1.14mにて平安前期の包含層。	8-69
四条二坊十六町	右、西院西今田町9-1,2,11 上今田町26-30,26-31	立	11/12	GL-0.9mにて古墳前期の溝2。	8-109
四条三坊 五町	右、西院乾町63	立	11/24	GL-0.9mにて平安後期の包含層。	7-119
四条三坊 十町	右、西院春栄町18	試	4/18	GL-1.15mにて室町の包含層。	7-10
*	右、西院春栄町25地	立	7/11	GL-1.22m以下時期不明の包含層2。	7-57
四条三坊十一町	右、西院春栄町地先	立	4/25	GL-0.89mにて時期不明の包含層。	7-14
*	右、山ノ内赤山町地先	立	8/8	検出できず。	7-68
四条四坊 七町	右、山ノ内山ノ下町21	立	7/9	検出できず。	7-56
四条四坊 九町	右、山ノ内西森町15-2	立	6/11	盛土のみ。	7-45
四条四坊十四町	右、山ノ内苗町32	試	10/19	GL-0.5mにて時期不明の南北流路。	7-97
五条一坊 三町	中、壬生松原町67-10	立	9/19	GL-1.0m以下包含層5、平安前期~中期3、時期不明2。	8-91
五条一坊 四町	中、壬生松原町1-17	立	4/20	GL-0.47mにて時期不明の湿地堆積。	8-12
五条一坊十三町	中、壬生下満町35	立	5/17	GL-0.7m以下平安の湿地堆積。	8-27
五条一坊十六町	中、壬生森前町16-16	立	6/6	検出できず。	8-43
五条二坊 一町	中、壬生仙念町14-1	立	12/1	検出できず。	8-122
*	中、壬生仙念町10-6	立	12/27	GL-1.6mにて南北方向の木組の溝、時期不明。	8-133
五条二坊 六町	中、壬生樟町10	立	9/20	GL-0.1mにて時期不明の包含層。	8-93
五条二坊 八町	中、壬生西土居ノ内町26-10	立	9/14	GL-0.41mにて平安中期の湿地堆積。	8-89
*	中、壬生仙念町20,17-5,21-2	立	11/8	盛土のみ。	8-105
五条二坊 九町	右、西院三蔵町14	立	12/2	GL-0.6m以下平安前期-平安中期・江戸の包含層各1。-1.65mにて火山灰層。	8-123
五条二坊十二町	右、西院高田町18-1	立	5/9	GL-1.02m以下時期不明の包含層2。	8-22
五条二坊十三町	右、西院寿町26-3	立	6/16	GL-0.58m以下時期不明の路面3。	8-48
*	右、西院西高田町18-1	立	8/9	検出できず。	8-70
五条二坊十四町	右、西院西三蔵町30	試	7/18	GL-0.8mにて時期不明の土壌・落ち込み各1。	8-58
*	右、西院西平町8	立	9/10	GL-0.3m以下時期不明の包含層5。	8-86
五条二坊十五町	右、西院北矢播町39-27-14	立	5/31	GL-0.7mにて時期不明の包含層。	8-38
*	右、西院西三蔵町4	立	7/22	逐回時工事終了。	8-63
五条三坊 二町	右、西院松井町32,33,34	試	5/30	GL-1.1mにて平安前期の東西溝、土器を大量に含む。推定綾小路南築地内溝。発掘調査に切り換える。	7-35
五条三坊 五町	右、西院太田町41,42	立	8/30	盛土のみ。	7-78

五条三坊 六町	右、西院南井御科町3	立	4/15	GL-0.78m以下包含層4、江戸1、時期不明3。	7-8
五条三坊十三町	右、西院清水町24	立	9/5	検出できず。	7-83
*	右、西院清水町地先	立	11/29, 12/2	盛土のみ。	7-121
五条四坊 五町	右、西院月双町56-3	立	5/24	GL-0.76m以下時期不明の包含層2。	7-31
五条四坊十三町	右、西院西田町90-2	立	6/6	GL-0.95mにて重町の包含層。	7-39
*	右、西院西田町29-32	試	11/11	GL-1.4mにて重町以降の溝。	7-107
五条四坊十五町	右、西院東貝川町59-3	試	6/29	GL-0.62mにて養生-古墳期の整六住居址2、土壇1、溝1。	7-54
五条四坊十六町	右、西院東貝川町32,33	立	11/16	盛土のみ。	7-115
六条一坊 二町	下、中堂寺北町16-6	立	6/17	GL-0.9mにて時期不明の井戸。	8-49
六条一坊 三町	下、朱雀分水町	立	8/6-23	櫻乱のみ。	8-67
六条一坊十四町	下、中堂寺栗田町1	立	12/21	盛土のみ。	8-132
六条二坊十五町	右、西院寺町	試	4/25	GL-0.3mにて道祖川の東側、-0.5mにて石敷遺構、柱穴、溝、平安-重町。発掘調査に切り換える。	8-13
*	右、西院寺町40-3他	試	11/16	GL-0.3mにて時期不明の東西溝。	8-114
六条二坊十六町	右、西院西高田町6	試	4/11	GL-0.64mにて鎌倉-重町の包含層。	8-5
*	右、西院西高田町8-5	立	7/21	検出できず。	8-62
六条三坊 五町	右、西院西溝崎町42	試	8/29	検出できず。	7-76
六条三坊 八町	右、西院西寺町4	立	9/8	検出できず。	7-84
六条三坊十一町	右、西院西溝崎町6	試	5/16	GL-2.0mにて植物遺体を含む湿地堆積。	7-25
*	右、西院西溝崎町8	立	11/14	GL-0.19mにて平安の包含層。	7-112
六条三坊十六町	右、西院清水町146	立	5/16	盛土のみ。	7-26
六条四坊 十町	右、西院月双町108-1	立	8/22	盛土のみ。	7-73
七条一坊 一町	下、朱雀分水町19	立	7/26	盛土のみ。	8-64
七条一坊 九町	下、西七条東八反田町	試	7/22	GL-0.47mにて平安の整地層、平安前期の柱穴3。	8-61
*	下、西七条東八反田町5	試	11/10	GL-0.95mにて時期不明の東西溝。	8-106
七条二坊 二町	下、西七条東石ヶ坪町61	立	10/24	検出できず。	8-102
七条二坊 十町	下、西七条掛越町64	立	8/23	検出できず。	8-75
七条四坊 二町	右、西京極町ノ坪町4-1-2	試	5/9	GL-1.15m以下時期不明の流れ堆積。	7-21
七条四坊 四町	右、西京極東町36	立	6/20	GL-0.68m以下時期不明の流れ堆積。	7-51
*	右、西京極東町30	立	7/5	検出できず。	7-55
*	右、西京極北富町13-1	立	11/18	検出できず。	7-118
七条四坊 五町	右、西京極東中島町22-2-6	試	9/5	GL-0.6mにて平安の包含層。	7-79
七条四坊十五町	右、西京極西池田町11	立	6/20	GL-1.2m以下時期不明の流れ堆積。	7-50
七条四坊十六町	右、西京極大丸町地先	立	6/6	櫻乱のみ。	7-41
*	右、西京極堤町35-1他	試	8/3	GL-0.8m以下流れ堆積、-1.6mにて養生-奈良の遺物含む。	7-66
*	右、西京極西池田町4,5	立	11/7	GL-0.9mにて時期不明の包含層、-1.0m以下、流れ堆積。	7-104
八条一坊 四町	下、梅小路領町	試	12/16	GL-1.04mにて近代以降の溜状堆積。	12-131
八条二坊 十町	下、七条御所ノ内北町76-3	立	6/11	GL-0.45m以下時期不明の流れ堆積。	12-46
八条二坊十一町	下、七条御所ノ内中町66	立	6/11	盛土のみ。	12-47
八条二坊十四町	下、七条御所ノ内中町29	立	5/6	盛土のみ。	12-16

八条三坊 七町	下、七条御所ノ内西町68-1他	試	4/4	GL-1.65mにて東西方向の本掘。 両側板及び蓋板の一部残存。発掘調査に切り換える。	11-1
八条三坊 九町	右、西京極御田町17-11	立	10/7	GL-1.7mにて包含層2。	11-96
+	右、西京極御田町20-31	立	11/16	検出できず。	11-116
八条三坊十三町	南、吉祥院向田東町30	立	12/5	GL-1.0m以下時期不明の流れ地積。	11-124
八条三坊十六町	右、西京極西川町22	立	4/14	GL-1.07m以下時期不明の流れ地積。	11-7
九条一坊 六町	南、唐橋花園町15	立	5/26	GL-0.25mにて平安前期の包含層。	12-34
九条一坊十二町	南、唐橋花園町9-6	立	11/1	GL-0.17mにて平安前期の包含層。	12-101
九条一坊十四町	南、唐橋西寺町35-7	立	9/8	GL-0.32mにて平安の包含層。	12-83
九条一坊十五町	南、唐橋平垣町6.7	試	9/20	1 T GL-0.67mにて鎌倉の土壌、 -0.8mにて平安前期~中期の包含層、 -0.96m以下古墳期の包含層。 2 T GL-0.26mにて平安後期の土壌1、溝1。発掘調査に切り換える。	12-92
九条二坊 三町	南、唐橋平垣町61	試	10/24	GL-0.5mにて室町~江戸の土壌・溝6。本文40ページ。	12-100
九条二坊 五町	南、唐橋大宮尻町9	試	11/14	GL-0.8m以下時期不明の流れ地積。	12-110
九条二坊十二町	南、唐橋西平垣町45-2	立	10/19-21	GL-1.0m以下時期不明の流れ地積。	12-99
九条二坊十三町	南、吉祥院清水町17	立	6/6	GL-1.45m以下時期不明の流れ地積。	12-40
九条三坊 五町	南、吉祥院西ノ庄猪ノ馬場町1	立	12/14	盛土のみ。	11-130
九条三坊 六町	南、吉祥院西ノ庄猪ノ馬場町1	立	7/21	盛土のみ。	11-60
九条三坊 九町	南、吉祥院西ノ庄西中町1~5	立	7/29	検出できず。	11-65
+	南、吉祥院西ノ庄西中町地先	立	11/14-17	GL-1.07mにて時期不明の流れ地積。	11-111
九条三坊十四町	南、吉祥院中河原里北町45.46	立	4/4	検出できず。	11-2
+	南、吉祥院中河原西敷町地先	立	6/10	検出できず。	11-44
九条四坊 九町	南、吉祥院宮ノ西町4-1-3	試	9/6	GL-1.23m以下時期不明の流れ地積。	11-82

## 平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺二坊 四町	上、殿屋町通一条下る福大明神町104-1他	立	5/7	検出できず。	5-26
+	上、中立売通堀川西入段人町259, 260他	試	6/15	GL-0.9mにて江戸の包含層。	5-62
北辺二坊 六町	上、油小路通中立売下る甲斐守町97	立	5/27	GL-1.7mにて時期不明の包含層。	5-44
北辺二坊 七町	上、油小路通中立売下る甲斐守町110-3	立	6/10	GL-1.1mにて時期不明の包含層。	5-60
北辺三坊 一町	上、西洞院通一条下る慶州寺町459 中立小学校	立	9/26	盛土のみ。	6-121
一条二坊 一町	上、黒門通下長者町上る北小大門町地先	立	9/21-22 26	GL-0.95mにて時期不明の包含層。	5-118
一条二坊 二町	上、大宮通下長者町下る清元町723-1他	立	7/12	GL-1.2mにて時期不明の包含層。	5-81
一条二坊 七町	上、殿屋町通下長者町下る亀屋町326	立	5/23	GL-0.62mにて時期不明の包含層。	5-40
一条二坊 九町	上、東堀川通上長者町下る2丁目32他	試	10/14	GL-0.2mにて鎌倉の土壌。	5-130
一条二坊 十町	上、下長者町通油小路西入大黒屋町32	立	10/14	検出できず。	5-131
一条二坊十三町	上、榎木町通小川西入東魚屋町352, 354	立	4/6	GL-1.46mにて江戸の包含層。	5-3
一条二坊十六町	上、小川通下長者町上る鷹司町66	立・試	7/25, 8/2	盛土のみ。	5-88
+	上、小川通中長者町下る中橋詰町167	立	8/26	検出できず。	5-109
一条三坊 一町	上、上長者町通新町西入土御門町318	立	12/7	GL-0.4mにて江戸の包含層。	6-162
一条三坊 八町	上、新町通下長者町上る元頂妙寺町32	立	6/10	GL-1.66mにて時期不明の包含層。	6-59

一条二坊十六町	上、下長者町通室町西入西園寺町16	試	12/5	GL-0.5m以下、江戸の層2、-2.4mにて、室町の包含層。	6-158
一条三坊 十町	上、下長者町通高丸西入西園寺町18	立	4/14	盛土のみ。	6-10
一条三坊十六町	上、京都御苑438-1	立	12/16	GL-0.15mにて江戸の包含層。	6-166
二条二坊 一町	上、丸太町通猪熊西入藤屋町522-3	立	8/5-18	攪乱のみ。	5-90
二条二坊 三町	中、二条城541	立	7/26	GL-0.3mにて江戸の包含層。	5-89
二条二坊 八町	上、榎木町通堀川西入踏堂町223	立	8/29	検出できず。	5-112
二条二坊 八町	上、西堀川通榎木下る上堀川町地先	立	6/15~17-20	GL-1.1mにて時期不明の包含層。	5-63
二条二坊 九町	上、東堀川通丸太町上る六丁目217-3	立	9/21-22	GL-0.67mにて時期不明の包含層。	5-119
二条二坊十一町	中、油小路通竹屋町下る橋本町488	立	9/19	GL-1.1m以下江戸、室町、時期不明の包含層各1。	5-117
*	中、夷川通堀川東入夷川町561	立	12/1	GL-1.2mにて江戸の包含層。	5-155
二条二坊十三町	中、二条通小川東入西大黒町 83-2	立	8/24	検出できず。	5-107
二条二坊十五町	中、竹屋町通小川西入東竹屋町429	立	5/23-24	GL-1.47m以下江戸の湿地堆積。	5-39
*	中、竹屋町通小川東入東竹屋町	立	6/6	検出できず。	5-54
二条二坊十六町	中、丸太町通小川西入橋邊治町100	立・疑	9/3-5	GL-1.5mにて平安後期の腐面(高層院)。発掘調査に切り換える。	5-113
二条三坊 二町	中、丸太町通釜座西入梅屋町171	立	12/5	GL-0.46mにて江戸の包含層。	6-159
二条三坊 五町	中、二条通室町西入納薬師町261-1他	立	7/25	GL-0.2m以下包含層5、室町2、江戸3。	6-87
*	中、室町通二条上る冷泉町58、59-1	立・試	5/27	GL-0.9m以下江戸の包含層3、-2.2mにて鎌倉の包含層。	6-8
二条三坊 九町	中、丸太町通高丸西入常真橋町190-2-3	立	4/15	巡回時工事終了。	6-14
二条三坊 十町	中、両替町通丸太町下る西方寺町178	立	4/6	GL-1.5mにて江戸の包含層。	6-4
二条三坊十一町	中、室町通竹屋町下る鏡屋町36-1	立	7/5	GL-0.24mにて江戸の包含層。	6-74
二条三坊十二町	中、室町通二条下る納薬師町262	立	4/21	検出できず。	6-17
*	中、室町通二条上る冷泉町70	立	6/28	巡回時工事終了。	6-71
二条三坊十四町	中、東洞院通夷川上る三本木五丁目494	立	9/28	GL-1.15mにて時期不明の包含層。	6-122
二条四坊 三町	中、高倉通夷川上る福屋町723、722-2	立	10/25	GL-1.21mにて室町の包含層。	6-136
二条四坊 五町	中、柳馬場通二条上る六丁目270-1	立	7/25	盛土のみ。	6-86
二条四坊 六町	中、塚町通夷川上る朝屋町136他	立	7/11	検出できず。	6-78
*	中、柳馬場通夷川上る五丁目223	立	8/2	攪乱のみ。	6-96
二条四坊十二町	中、二条柳馬場東入る晴明町657	立	10/14	GL-1.05mにて平安の土壌。	6-132
二条四坊十三町	中、麩屋町通二条上る布袋屋町499-1、500	立	5/27	GL-1.39mにて室町の包含層、-1.54m以下時期不明の流れ堆積。	6-43
二条四坊十五町	中、丸太町通麩屋町西入昆布屋町395	立	10/14	GL-1.9m以下江戸の包含層。	6-133
三条一坊 二町	中、西ノ京北聖町27	立	6/6	GL-0.88mにて平安中期の土壌。	5-51
三条一坊 六町	中、西ノ京池ノ内町23	立	7/19	GL-0.7mにて時期不明の東西溝、推定跡小路南側溝。	5-85
三条一坊 七町	中、西ノ京職司町67-76	立	10/24	盛土のみ。	5-199
三条一坊十一町	中、神泉苑通御池下る神泉苑町9	立	5/6	GL-0.5mにて江戸の包含層、-1.1m以下時期不明の湿地堆積。	5-21
*	中、神泉苑通榎木小路上る神泉苑町	立	6/1-6	検出できず。	5-49
*	中、西ノ京池ノ内町16-14	試	11/25	GL-1.25m以下近代以降の池状堆積。	5-150
三条一坊十四町	中、大宮通御池下る三坊大宮町149-3	立	8/19	GL-0.83m以下時期不明の池状堆積。	5-104
三条二坊 三町	中、榎小路通黒門西入倉本町263-1-1	立	8/26	検出できず。	5-110
三条二坊 六町	中、猪熊通榎小路上る三坊猪熊町南組356	立	11/18	検出できず。	5-145
三条二坊 十町	中、油小路通御池上る押油小路町254他	立	7/11	GL-1.37mにて室町の包含層、-1.68mにて室町の土壌。	5-79
三条二坊十三町	中、小川通榎小路下る西堂町487	立	6/6	巡回時工事終了。	5-52
*	中、油小路通榎小路下る紫林町96、96-2-3	立	9/22	GL-0.93mにて時期不明の包含層。	5-120
三条二坊十四町	中、榎小路通小川東入宮木町482	立	6/1	GL-0.5mにて江戸の包含層。	5-50

三条二坊十五町	中、小川通押小路下る下古城町378	立	8/10	検出できず。	5 - 100
三条三坊 一町	中、釜座通二条下る上松屋町897-3	立	5/6・14	GL-0.55mにて江戸の包含層。	6 - 23
三条三坊 三町	中、西洞院通押小路上る三坊西洞院町565	試	4/14	GL-0.9mにて江戸の土壌。	6 - 9
三条三坊 六町	中、重町通御池下る円福寺町345	立	6/7	GL-2.76m以下時期不明の流れ堆積。	6 - 55
三条三坊 八町	中、新町通二条下る額町21-5	立	5/18	GL-0.5mにて江戸の包含層。	6 - 37
三条三坊 九町	中、重町通二条下る納薬師町288	立	6/10	検出できず。	6 - 58
三条三坊十一町	中、虎屋町地先	立	12/13	礫土のみ。	6 - 165
三条三坊十四町	中、東洞院通御池下る笹屋町445	立	8/17	GL-1.05m以下鎌倉・江戸の包含層各1。	6 - 102
三条三坊十五町	中、車屋町通押小路下る笠師屋町330-1	立	8/26-29	GL-1.4mにて室町の包含層。	6 - 111
*	中、押小路通鳥丸東入西押小路町101他	立	12/26	GL-1.2m以下桃山-江戸の池状堆積。	6 - 171
三条四坊 一町	中、関之町通二条下る鶴屋町486	立	10/3	GL-2.1mにて鎌倉の包含層。	6 - 123
三条四坊 六町	中、堺町通押小路上る丸木村木町683-1	立	5/20	GL-1.6mにて時期不明の包含層。	6 - 38
三条四坊 七町	中、堺町通御池上る扇屋町661	立	6/6	GL-1.5mにて室町の井戸。	6 - 53
三条四坊 八町	中、押小路通堺町西入竹屋町158-1	立	5/6	巡回工事終了。	6 - 24
三条四坊 九町	中、柳馬場通押小路上る等持寺町26	立	12/7	GL-0.4m以下平安後期・鎌倉後期・江戸の包含層各1。	6 - 161
三条四坊十六町	中、御幸町通二条下る山本町地先	立	9/9・10・12-19	No1 GL-0.7m以下室町・鎌倉・時期不明の包含層各1。-1.15mにて路面、推定二条大路。	6 - 115
四条一坊 一町	中、壬生朱雀町5-6	立	4/7	盛土のみ。	9 - 5
*	中、壬生朱雀町4-1 6	試	7/13	GL-1.3mにて平安の溜地堆積。	9 - 82
四条一坊 十町	中、壬生馬場町37-10-11	立	5/6・7	盛土のみ。	9 - 20
*	中、納薬師通大宮西入因幡町102	試	7/27	GL-0.7m以下時期不明の包含層2。	9 - 91
四条一坊十六町	中、大宮通三条下る三条大宮町266	立	8/18	GL-0.9m以下包含層3、平安前期、江戸、時期不明各1。	9 - 103
四条二坊 一町	中、大宮通三条下る三条大宮町267	立	11/15	GL-1.2mにて室町の池状堆積。	9 - 143
四条二坊 五町	中、岩上通四条上る松浦町862	立	10/11	GL-0.82m以下包含層2、平安後期1、室町1。	9 - 129
四条二坊十二町	中、東堀川通四条上る総徳町648-2	立	8/22	GL-1.1mにて江戸の包含層、-1.25m以下時期不明の流れ堆積。	9 - 106
四条二坊十五町	中、西洞院通六角下る池須町409	立	11/28	GL-0.6m以下江戸の包含層。	9 - 152
四条二坊十六町	中、西洞院通三条下る柳水町66他	立	5/10-12	GL-1.85mにて江戸の溜地堆積。	9 - 29
四条三坊 七町	中、納薬師通室町西入地舞町208番地	試	10/4	GL-1.2mにて平安の整地層。室町-江戸の土壌、小穴検出。推定南蛮寺跡。発掘調査に切り換える。本文37ページ。	10 - 125
四条三坊 九町	中、三条通鳥丸西入御倉町64他	試	7/29	GL-1.6mにて桃山の石組み遺構。発掘調査に切り換える。	10 - 93
四条三坊十一町	中、納薬師通鳥丸西入櫻舟慶町228	立	4/14	検出できず。	10 - 13
四条三坊十三町	中、鶴小路通鳥丸東入元法然寺町684	試	11/21	GL-1.0m以下包含層3、平安・鎌倉・室町各1。発掘調査に切り換える。	10 - 146
四条四坊 五町	下、四条通堺町東入立売中之町104	立	10/28	GL-1.95m以下包含層4、平安後期・室町・桃山・時期不明各1、-2.45mにて平安後期の土壌。	10 - 138
四条四坊 六町	中、納薬師通堺町西入藤金町371	立	10/26	GL-1.6mにて時期不明の包含層、-1.8m以下、流れ堆積。	10 - 137
四条四坊 七町	中、高倉通六角下る和久屋町350	立	5/7	検出できず。	10 - 27
四条四坊 八町	中、柳馬場通三条下る鶴屋町93-1	立	7/5	礫土のみ。	10 - 75
*	中、高倉通二条下る丸屋町159-1	立	8/2	検出できず。	10 - 95
*	中、六角通高倉東入東之上町105	立	11/28	GL-0.4m以下江戸の包含層。	10 - 154



四糸四坊十二町	中、熱屋町通錦小路下る桐屋町	立	4/20	GL-0.65m以下時期不明の踏面、 -1.5mにて時期不明の溝、推定富小路の踏面・西側溝。	10-16
五糸一坊 一町	中、壬生塚ノ宮町19-2	立	7/13	GL-1.04m以下鎌倉・時期不明の 包含層各1。	9-83
五糸一坊 四町	中、壬生辻町49	試	6/21	GL-1.0mにて鎌倉→室町の土壌。	9-70
五糸一坊 十町	中、壬生買階所町地先	立	11/22	擾乱のみ。	9-148
五糸一坊十三町	下、大宮通高辻下る高辻大宮町102	立	5/10	盛土のみ。	9-30
五糸二坊 二町	下、黒門通綾小路下る塩屋町183	立	12/22	GL-0.55mにて鎌倉の包含層、 -1.33mにて時期不明の落込み。	9-170
五糸二坊 九町	下、油小路通四糸下る石井黄町549	立	6/14	GL-0.35mにて江戸の包含層。	9-61
。	下、東堀川通四糸下る四糸堀川町286他4筆	立	10/14	検出できず。	9-134
五糸二坊十五町	下、綾小路通油小路東入戸刈山町125	立	4/4	GL-0.3mにて江戸の包含層。	9-1
五糸三坊 一町	下、西湖院通四糸下る妙伝寺町696	立	5/30	検出できず。	10-45
五糸三坊 二町	下、仏光寺通新町西入菅大臣町173	立	4/25	検出できず。	10-18
五糸三坊 四町	下、新町通高辻下る御影町457-1-2	立	6/28	GL-1.98mにて江戸の落込み。	10-72
五糸三坊 六町	下、高辻通室町西入警備町295-1	立	8/4	GL-0.3mにて江戸の包含層。	10-99
五糸三坊 七町	下、仏光寺通室町西入泉屋町217	立	11/8	GL-0.91m以下室町の包含層。	10-142
五糸三坊 八町	下、室町通四糸下る烏崎町498他	立	4/16-25	GL-1.45mにて室町の包含層、 -1.9mにて土壌4、室町1、時期不明3。	10-15
五糸三坊十一町	下、仏光寺通烏丸西入釘隠町246	立	5/9	GL-2.15mにて古墳後期の包含層。 本文37ページ。	10-22
五糸三坊十二町	下、烏丸通高辻下る黒野前町709, 710	試	11/7	GL-1.1mにて江戸の湿地堆積。	10-140
五糸三坊十三町	下、烏丸通高辻下る東園因幡堂町709	立	8/3	検出できず。	10-97
五糸三坊十四町	下、仏光寺通烏丸東入上柳町341	立	11/28	GL-0.4mにて江戸の包含層。	10-153
五糸四坊 四町	下、東洞院通高辻下る燈籠町571	立	12/8	GL-0.4mにて江戸の包含層。	10-163
五糸四坊 六町	下、仏光寺通堺町東入東前町400	立	8/3	GL-0.3mにて江戸の包含層。	10-98
。	下、仏光寺通堺町東入東前町408	立	11/16	GL-0.65mにて江戸の包含層。	10-144
五糸四坊 八町	下、高倉通四糸下る高材木町228	立	5/30	GL-1.83m以下平安の包含層2。	10-46
。	下、高倉通四糸下る元光中之町85	立	6/15	擾乱のみ。	10-64
五糸四坊 十町	下、高小路通仏光寺上る仏光寺東町121-5	立	5/14	GL-0.45mにて江戸の包含層。	10-31
五糸四坊十一町	下、高辻通富小路東入銀金町171	立	5/31	GL-0.2以下江戸の包含層。	10-47
六糸一坊 三町	下、中堂寺坊城町10.16-9	試	8/26	検出できず。	9-108
六糸一坊 六町	下、中堂寺壬生川町1-20	立	5/17-18	検出できず。	9-34
六糸二坊 二町	下、黒門通五糸上る榎本町590-1	試	6/17	GL-0.6mにて平安末期→鎌倉の 土壌3。	9-66
六糸二坊 三町	下、猪熊通五糸下る榎本町672-3-2	立	6/20	GL-0.65mにて時期不明の包含層。	9-69
六糸二坊十五町	下、五糸通東中筋西入金東横町240他	立	7/11	GL-0.83mにて平安末期の土壌、 -1.15mにて時期不明の土壌。	9-80
六糸三坊 七町	下、新町五糸上る材木町138-1	立	10/19	GL-0.98mにて室町の包含層、 -1.09mにて時期不明の土壌、-1.79 mにて弥生の湿地。	10-135
六糸三坊 八町	下、松原通新町東入中野之町172	立	6/17-20	GL-1.16m以下包含層4、鎌倉1 室町3。本文37ページ。	10-67
六糸三坊十二町	下、烏丸通五糸下る大隈町347	立	6/7	検出できず。	10-56
六糸三坊十五町	下、東洞院通五糸上る深草町586-1	立	5/17	GL-1.78mにて室町の包含層。	10-35
六糸四坊 一町	下、東洞院通松原下る大江町538-1他	立	12/19	GL-1.2mにて室町の落込み。	10-167
六糸四坊 二町	下、万寿寺通園之町東入万寿寺中之町84	立	6/20	GL-1.38m以下江戸・時期不明の 包含層各1。	10-68
。	下、東洞院通五糸上る深草町580	立	10/3	GL-1.66mにて時期不明の包含層、 -1.83m以下時期不明の流れ堆積。	10-124
六糸四坊 四町	下、園之町通五糸下る徳勝町105	立	5/24	GL-1.04m以下江戸の流れ堆積。	10-41
六糸四坊 八町	下、堺町通万寿寺上る銀治屋町243, 242	立	10/7	GL-1.43mにて室町の落込み。	10-127
。	下、堺町通万寿寺上る銀治屋町252	立	4/14	GL-2.4mにて時期不明の包含層。	10-11
六糸四坊 九町	下、榎馬場通松原下る忠庵町316	立	5/6-10	GL-1.97mにて時期不明の包含層。	10-25

六条四坊十三町	下、南京極町他	立	4/14	擾乱のみ。	10 - 12
六条四坊十五町	下、御幸町通五条上る安土町617	立	11/7	GL-1.1m以下室町、時期不明の包含層各1。	10 - 141
六条四坊十六町	下、御幸町通万寿寺上る須浜町651	立	5/17	巡回時工事終了。	10 - 36
七条一坊 二町	下、上之町124-1	立	11/25	GL-1.6mにて鎌倉の湿地堆積。	9 - 151
七条一坊 三町	下、西新屋敷大夫町95-3	立	12/1	検出できず。	9 - 156
七条一坊 四町	下、朱雀正会町7	立	7/18	検出できず。	9 - 84
七条一坊 九町	下、花屋町通帯筋西入墨田町175	立	6/7	GL-0.55mにて江戸の包含層。	9 - 57
七条三坊 四町	下、北小路通菅宮東入井筒町662	立	6/28	GL-1.6mにて平安前期の落ち込み。	10 - 73
七条三坊 九町	下、烏丸通六条下る北町185他	試	9/13	GL-1.2mにて平安末期～鎌倉の整地層。発掘調査に切り換える。	10 - 116
*	下、烏丸通六条下る北町183-3, 4	立	10/11-12	GL-1.4mにて平安後期の包含層、鎌倉～室町の井戸。本文37ページ。	10 - 128
七条三坊十四町	下、正面通烏丸東入廿八講町	立	4/25	盛土のみ。	10 - 19
*	下、下味数屋町通烏丸東入橋町72	立	8/2	検出できず。	10 - 94
七条四坊 二町	下、潤之町通上味数屋町下る打越町315-2	立	12/8	巡回時工事終了。	10 - 164
七条四坊 十町	下、西木堀町通上ノ口下る梅澤町95, 95-2-3	立	11/21	GL-0.6m以下流れ堆積。	10 - 147
七条四坊十二町	下、河原町通七条上る住吉町348	立	11/22	GL-0.8m以下鴨川の氾濫堆積。	10 - 149
七条四坊十四町	下、正面通二ノ宮町東入上二之宮町390	立	5/9	GL-0.8m以下時期不明の流れ堆積。	10 - 28
八条一坊 四町	南、八条源田町44-50	立	5/31	掘削なし。	9 - 48
八条二坊 八町	下、下魚船通播磨東入樽屋町370	立	4/11	GL-1.0mにて室町の土壌。	11 - 6
八条三坊 七町	下、七条通～堀小路通・堀川通～西洞院通	立	10/31	GL-0.55m以下時期不明の整地層5、推定油小路跡面。	12 - 139
八条三坊 八町	下、七条通新町東入西境町	立	4/12	GL-1.5mにて鎌倉の土壌。	12 - 7
*	下、七条通新町東入西境町163	立	9/7	GL-1.7m以下時期不明の流れ堆積。	12 - 114
八条四坊 二町	下、堀小路通東洞院東入東堀小路町685-2	立	5/16	GL-0.65m以下時期不明の流れ堆積。	12 - 33
八条四坊十六町	下、川堀町	試	10/5	GL-0.5m以下流れ堆積。	12 - 126
九条一坊 四町	南、八条内田町地先	立	5/26	検出できず。	11 - 42
九条一坊 五町	南、四ツ塚町13	立	5/16	GL-1.1m以下時期不明の流れ堆積。	11 - 32
*	南、四ツ塚町15	立	7/27	GL-0.4mにて江戸の包含層。	11 - 92
九条一坊 九町	南、八条町436	立・試	4/6-4	GL-0.42mにて平安前期の整地層、小穴5。	11 - 2
九条一坊十五町	南、九条町1	試	6/16-23	1 T GL-0.6mにて江戸の包含層-0.68mにて鎌倉前期の南北溝1、土壌1、-0.8mにて平安の整地層。発掘調査に切り換える。 2 T GL-1.0mにて蓮池北側の石組み最下部の一段だけ残存。	11 - 65
*	南、九条町1	立	12/1	GL-0.3mにて室町の包含層、-0.6m以下平安～鎌倉の整地層2。	11 - 157
九条一坊十六町	南、九条町621	試	12/6	GL-0.55mにて室町の包含層、-0.68mにて平安の整地層、平安～室町の柱穴4。	11 - 160
九条二坊 八町	南、西九条藤ノ木町23	試	7/8	GL-0.1mにて時期不明の包含層、-0.5mにて鎌倉～室町の池状堆積。	11 - 76
九条二坊十三町	南、西九条春日町19	立	12/20	GL-0.9mにて湿地堆積、-1.42m以下、時期不明の道路堆積。	11 - 169
九条三坊 五町	南、東九条下殿田町40, 41, 43	試	12/20	GL-0.5mにて室町の東西溝。	12 - 168
九条三坊 八町	南、東九条室町47-3	立	8/11	GL-0.75m以下時期不明の流れ堆積。	12 - 101

九条三坊十二町	南、東九条丸丸町30	立	7/9・11	GL-0.6mにて鎌倉～室町の土壌2、-0.8m以下流れ堆積。	12-77
九条四坊十五町	下、壘形町23-1	立	8/19	GL-0.5m以下時期不明の流れ堆積。	12-105

### 太秦地区 (U Z)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
一ノ井遺跡	右、太秦一ノ井町6他	試	8/1	GL-0.2mにて鎌倉の小穴4、土壌1。	-13
○	右、太秦森ヶ西町123	立	11/29	検出できず。	-21
円宗寺跡	右、御重大内他	立	9/1～	平安後期の溝4。推定仁和寺院家北	-14
円宗寺跡			12/27	院。	
広隆寺旧境内	右、太秦東峰岡町2-7他	立	11/7	検出できず。	-20
○	右、太秦桂ヶ原町20	立	11/7	検出できず。	-19
○	右、太秦東峰ヶ岡町2	立	4/25	検出できず。	-6
広隆寺境内遺跡	右、太秦桂木町5-10他	試	6/27	GL-0.56m以下室町の包含層。	-11
○	右、太秦桂木町5-1他	立	6/27	GL-0.5mにて室町の包含層。	-12
史跡名勝 嵐山 蛇塚古墳	右、嵯峨天龍寺芒ノ馬場町33 右、太秦園影町地先	試	10/1	GL-1.5mにて室町の包含層。-1.8mにて時期不明の縄土壌。発掘調査に切り換える。	-17
蛇塚古墳	右、太秦園影町地先	立	4/5	GL-0.3mにて古墳後期の包含層。	-4
上ノ段町遺跡	右、太秦上ノ段町他	立	4/27～	平安後期の包含層、溝、土壌。	-7
			12/2		
常盤仲之町遺跡	右、太秦峰岡町地先	立	4/18	検出できず。	-5
広隆寺旧境内 常盤東ノ町古墳群	右、常盤東ノ町6-3、26-3	試	10/28	GL-0.5mにて弥生の包含層。	-18
○	右、常盤岡町地先	立	6/16	検出できず。	-10
仁和寺院家跡	右、常盤御池町3-1他	試	12/21	GL-0.22mにて平安後期の包含層。土壌。発掘調査に切り換える。本文39・41ページ。	-24
○	右、宇多野御屋敷町地先	立	12/12	擾乱のみ。	-23
○	右、宇多野御池町地内	立	12/7	検出できず。	-22
○	右、宇多野法安寺町地先	立	4/2	検出できず。	-1
○	右、宇多野法安寺町地先	立	9/8	検出できず。	-15
○	右、常盤一ノ井町3	試	5/23	GL-3.4mにて時期不明の包含層。	-9
西野町遺跡	右、嵯峨野千代ノ道町	試	4/15	GL-0.5mにて奈良期の瓦散布。発掘調査に切り換える。	-3
東衣手町遺跡	右、西京極東衣手町38	立	9/13	GL-0.65mにて江戸の土壌。	-16

### 洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
元福荷蔵跡	左、岩倉榎枝町743-3	立	6/22	検出できず。	-9
船山須惠郡幕跡	北、西賀茂今原町2-3-6	立	6/15	検出できず。	-7
植物園北遺跡	北、上賀茂高繩寺町87-1,2	立	4/7	GL-0.44mにて江戸の土壌。	-1
○	左、下鶴南芝町35-2	立	4/8	盛土のみ。	-2
○	左、下鶴北芝町37	立	5/19	検出できず。	-6
○	北、上賀茂松本町44-1	立	6/16	GL-0.45mにて時期不明の包含層。	-8
○	左、下鶴南芝町43-3	試	7/11	GL-0.8mにて江戸の流れ堆積。	-12
○	北、上賀茂岩ヶ垣内町96、97-2	試	9/9	検出できず。	-14
○	北、上賀茂岩ヶ垣内町41	試	9/19	検出できず。	-16
○	北、上賀茂呼勝町29-1	立	10/7	盛土のみ。	-19

植物園北遺跡	左、下鴨南茶ノ木町42	立	11/8	GL-0.6m以下流れ堆積。	- 20
○	左、下鴨半木町	試	11/24	検出できず。	- 21
○	北、上賀茂桜井町77	試	11/28	検出できず。	- 22
紫野南院跡	上、大宮通西裏嵐山寺上る二丁目整社南平町231	立	4/25	GL-0.24m以下時期不明の包含層3。	- 4
○	上、大宮通西裏嵐山寺上る二丁目整社南平町221-2	立	5/11	盛土のみ。	- 5
相国寺旧境内	上、室町通上立売下る裏藁地町88	立	9/12	GL-0.95mにて江戸の包含層。	- 15
○	上、室町通上立売下る裏藁地町97	立	9/22	GL-1.3mにて室町の包含層。	- 18
北野庵寺	北、北野上白梅町65, 61	試	6/29,	GL-0.5mにて平安の東西溝。発掘調査に切り換える。	- 10
			7/4		
北野遺跡	上、今小路通御前西入上る紙堀川町1039-31	試	4/19	GL-0.7mにて室町後期の整地層。	- 3
北野天満宮	上、馬喰町北野天満宮内	立	9/21	検出できず。	- 17
境内経塚					
聚楽第跡	上、一条通浄福寺東入北新在家町326	立	7/4	検出できず。	- 11
○	上、一条通智恵光院東入鏡石町12, 14, 15	立	7/12	検出できず。	- 13

### 北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
一乗寺向畑町遺跡	左、一乗寺向畑町16-1	立	5/19	巡回時工事終了。	- 7
○	左、律学院十権寺町12-2	立	8/1	検出できず。	- 18
北白川庵寺	左、北白川大堂町8	立	7/7	巡回時工事終了。	- 14
○	左、北白川山田町67	試	8/10	検出できず。	- 19
京都大学教養学部構内遺跡	左、西田二本松町82	立	4/12	GL-0.2 m 以下、時期不明の包含層3。	- 2
○	左、西田本町21-4, 22-3	立	12/12	盛土のみ。	- 31
白河北殿跡	左、聖護院川原町27-4他	試	7/7	GL-0.6mにて時期不明の包含層。	- 12
○	左、東丸太町34-12	試	10/6	GL-1.2m以下平安末の湿地堆積。	- 25
○	左、東丸太町25-1	立	11/1	GL-0.83m以下流れ堆積。	- 29
得長寿院跡	左、岡崎徳成町20-2他	試・立	4/8, 16	GL-0.95mにて室町の包含層、1.15mにて平安後期の柱穴1、土壌3。	13 - 1
○	左、聖護院蓮華蔵町56-14	立	5/13	検出できず。	13 - 5
○	左、岡崎徳成町28-5	立	6/14	検出できず。	13 - 10
葦勝寺跡	左、雄崎西天王町97	試	7/19	GL-0.75mにて江戸の包含層。	13 - 16
法勝寺跡	左、岡崎法勝寺町55他	試	7/6	GL-0.65m以下鎌倉～江戸の流れ堆積。本文41ページ。	13 - 11
○	左、岡崎天王町61-7	立	9/14	GL-0.75mにて江戸の落ち込み。	13 - 21
○	左、岡崎天王町49-1	試	10/7	GL-1.2mにて室町～江戸の土壌、小穴、溝、-1.8mにて平安後期の南北溝。発掘調査に切り換える。	13 - 26
成勝寺跡	左、岡崎成勝寺町	立	4/14	GL-0.85mにて江戸の包含層。	13 - 3
○	左、岡崎成勝寺町1-7	立	7/13	GL-1.03mにて鎌倉～室町の包含層。	13 - 15
最勝寺跡	左、岡崎最勝寺町13	立	7/27	擾乱のみ。	13 - 17
円勝寺跡	左、岡崎円勝寺町91-65他	立	12/16	GL-1.3mにて室町の落込み。本文41ページ。	13 - 32
白河街区	左、岡崎徳成町	立	5/11, 17	GL-1.44mにて時期不明の整地層。	13 - 4
○	左、願町338-5・6	立	6/10	盛土のみ。	13 - 8
○	左、聖護院山王町28-29	立	6/10	巡回時工事終了。	13 - 9
○	左、聖護院山王町40	立	7/7	GL-0.82mにて鎌倉の土壌。	13 - 13
○	左、岡崎円勝寺町154, 149-2	試	9/28	GL-0.6mにて室町の包含層、-0.9mにて平安後期の瓦多量。発掘調査に切り換える。本文38・41ページ。	13 - 22

白河街区	左、新車塚町160	立	10/3	GL-0.2m以下包含層4、江戸3、平安後期1。	13-23
*	左、聖護院中町14	立	10/4	GL-1.0mにて平安の柱穴。	13-24
*	左、聖護院東町7	立	10/19	GL-0.66mにて時期不明の包含層。	13-27
*	左、吉田下大路町7-1-2	立	10/26	GL-0.15m以下時期不明の包含層。	13-28
*	左、福本町413	立	11/8	GL-1.15mにて時期不明の包含層。	13-30
南禅寺境内遺跡	左、南禅寺福地町	立	5/16-18	検出できず。	-6
遺跡外	左、一乗寺南原田町2 修学院中学校	立	8/23	GL-0.3m以下室町~江戸の包含層3。	-20

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
勸修寺境内	山、勸修寺本堂山町10-15-17	立	7/7	検出できず。	-11
元屋敷鹿寺	山、大塚元屋敷町大岩	立	8/2-6-30	検出できず。	-17
山科本願寺跡	山、西野鎌倉町40他	試	4/12	GL-0.2m以下流れ堆積。	-2
*	山、西野山階町29	立	5/30,	GL-1.3mにて山科本願寺の東西の石組溝。本文17ページ。	-5
*	山、西野広見町31-5	立	7/18	検出できず。	-13
人摩飯王山荘跡	山、安永島場ノ東町地内	立	12/20	検出できず。	-36
正覚寺跡法性寺跡	伏、淡草原成町40	立	6/10	盛土のみ。	-9
大宅鹿寺	山、大宅島井臨町11-2	立	6/15	GL-0.8mにて時期不明の土層2。	-9
大塚遺跡	山、小山中ノ川町17-1	試	12/9	検出できず。	-34
中臣遺跡	山、勸修寺東栗栖野町83, 83-2	試	6/20	GL-0.5mにて古墳前期の包含層。	13-10
*	山、勸修寺西金ヶ崎20	立	7/25	盛土のみ。	13-15
*	山、西野山中臣町26-106	立	8/6	検出できず。	13-19
*	山、勸修寺西金ヶ崎77-1	立	8/24	検出できず。	13-20
*	山、東野森野町1-7他	立	9/22	検出できず。	13-26
*	山、勸修寺西栗栖野町21-2, 21-4	立	10/17	検出できず。	13-29
*	山、栗栖野嵐塚町1-1	試	10/26	GL-0.3mにて時期不明の溝2、落ち込み1。	13-30
*	山、西野山中臣町20	試	11/2	GL-0.76mにて土層・柱穴。	13-31
珍皇寺境内遺跡	東、小松町11-11	立	7/25	盛土のみ。	-16
*	東、輪植町123	立	9/19	GL-1.16mにて江戸の落ち込み。	-24
法興院跡	中、河原町通奥川上る指物町330	立	8/5	GL-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	-18
法住寺殿跡	東、本町十丁目162	立	4/4	GL-0.7mにて時期不明の包含層。	-1
*	東、泉涌寺門前町29-34	立	6/10	GL-0.5m以下時期不明の流れ堆積。	-6
*	東、三十三間堂通り657	立	7/12	GL-0.55mにて平安末期の整地層。	-12
*	東、西之門町558-1	立	9/7	検出できず。	-21
法性寺跡	東、泉涌寺雀ヶ森町3-3他	立	5/20	盛土のみ。	-4
*	東、泉涌寺五瀬ノ辻町7-35	立	6/15	GL-0.85m以下時期不明の包含層。	-8
*	東、本町十五丁目794	試・立	11/2・15	1 T GL-0.5mにて平安前期の東西溝。2 T GL-0.2mにて南北の溝3、中世1、時期不明2。発掘調査に切り換える。	-32
六波羅政庁跡	東、五条橋東四丁目452, 453-1	立	7/25	検出できず。	-14
*	東、上新シ町362	立	9/14	盛土のみ。	-22
*	東、輪植町90	立	10/3	GL-0.7mにて江戸の包含層。	-27
*	東、門崎町186-1	立	10/12	GL-0.6m以下時期不明の流れ堆積。	-28
*	東、上根跡町287	立	11/9	GL-0.62m以下流れ堆積。	-33
*	東、鐘跡町407	立	12/9	検出できず。	-35

六波羅政庁跡	東、大和路一丁目533-8他	立	4/14	GL-0.36m以下包含層3、江戸1、 時期不明2。	- 3
* 法住寺跡跡	東、下堀跡町地先	立	9/14-19	GL-0.5mにて鎌倉の落ち込み。	- 23
六波羅政庁府	東、芳野町88	立	12/21	盛土のみ。	- 37

### 伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
伏見城跡	伏、京町八丁目横町地先	立	4/5・6 ・8・11	GL-0.37mにて時期不明の包含層。	- 1
*	伏、桃山長岡越中北町1,2	立	4/15	GL-0.5mにて桃山の落ち込み。	- 2
*	伏、桃山水野左近東町59	立	4/28	検出できず。	- 3
*	伏、道阿弥町149-3	立	5/6	検出できず。	- 4
*	伏、京町北八丁目75-9	立	5/16	検出できず。	- 5
*	伏、深草中ノ島町2-2	立	5/18	検出できず。	- 7
*	伏、桃山町楽長老111,他	試	5/20	GL-1.1m以下流れ地積。	- 8
*	伏、京町九丁目42-13-14	立	5/25	GL-0.5mにて時期不明の土壌。	- 9
*	伏、桃山筑前町26-2他	試	5/26	GL-1.0mにて江戸前期の包含層、 -1.2mにて桃山~江戸前期の柱穴 10。	- 10
*	伏、桃山町永井久太郎59-1	試	6/10	検出できず。	- 11
*	伏、南浜町271	立	6/10	擾乱のみ。	- 12
*	伏、桃山下野31-1	立	7/4	検出できず。	- 13
*	伏、鍋島町18	立	7/7	GL-0.7mにて時期不明の池跡。	- 14
*	伏、桃山羽楽長吉東町86	立	7/25	GL-0.85mにて江戸の包含層。	- 16
*	伏、桃山町達山66-3	立	7/25	巡回時工事了。	- 17
*	伏、新町四丁目455-2	立	7/27	GL-0.65m以下江戸の包含層2。	- 18
*	伏、鍋座町二丁目34	立	8/1	検出できず。	- 19
*	伏、桃山町達山69,69-2	立	8/2	盛土のみ。	- 20
*	伏、京町南八丁目101-1	立	8/3・5	検出できず。	- 21
*	伏、西管町九丁目264-1	立	8/9	検出できず。	- 22
*	伏、京町北七丁目10-1	立	8/15	GL-0.5mにて時期不明の包含層。	- 23
*	伏、桃山筑前町1-1	試	8/22	GL-0.6mにて時期不明の土壌。	- 24
*	伏、西大手町307-56他	立	8/24	検出できず。	- 25
*	伏、桃山町百軒屋地先~桃山町新町地先	立	9/3, 10/7	検出できず。	- 26
*	伏、豊後橋町62-1他	立	9/7	検出できず。	- 27
*	伏、紙子屋町539-2・4・5	立	9/9	盛土のみ。	- 28
*	伏、桃山最上町19-1・3・4	立	9/20	検出できず。	- 29
*	伏、桃山町鍋島1-5	立	9/27	GL-0.92mにて鎌倉の包含層。	- 31
*	伏、桃山町永井久太郎59-2	試	10/21	1 T GL-0.5mにて桃山の土壌。 3 T GL-1.6mにて南北方向の石 組溝と路面、発掘調査に切り換える。 本文24ページ。	- 32
*	伏、桃山町楽長老99-10	立	10/26	GL-0.95m以下流れ地積。	- 33
*	伏、京町2丁目218	立	11/9	検出できず。	- 35
*	伏、西奉行町1-1	立	11/10-25	GL-1.2mにて江戸の包含層。	- 36
*	伏、桃山町真赤3	立	12/7	盛土のみ。	- 38
*	伏、深草中ノ島町14-8	立	12/24	検出できず。	- 39
*	伏、深草大亀谷万帖敷町547-1	立	12/12	検出できず。	- 40
*	伏、西奉行町1-1	試	12/13-22	GL-1.6mにて江戸の石垣2、豊地 層2。発掘調査に切り換える。	- 41
深草坊町遺跡	伏、深草西伊達町1	試	5/17	GL-2.15mにて火山灰層。	- 6
深草遺跡	伏、深草野田町16-1他	立	7/21	検出できず。	- 15

深草遺跡 *	伏、深草西伊達町1	立	11/8	盛土のみ。	- 34
	伏、深草西浦町3丁目44	立	11/18	GL-0.6mにて時期不明の南北流 路。	- 37
おうせんどう廃寺	伏、深草鞍ヶ谷43-2	立	9/27	検出できず。	- 30

### 鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概 要	図版番号
唐橋遺跡	南、唐橋堂ノ前町22-3	立	10/3	GL-0.58mにて時期不明の包含層 2。-0.89m以下流れ堆積、古墳時 代の遺物を含む。	- 24
*	南、吉祥院九条町43-1	立	10/24	GL-0.74mにて時期不明の包含層。	- 32
	伏、淀本町52	立	8/24	GL-2.25mにて江戸の包含層。	- 17
淀城跡	伏、淀本町173-17-18	立	9/13	検出できず。	- 22
下鳥羽遺跡	伏、下鳥羽芥川町19	立	8/19	盛土のみ。	14 - 15
	伏、下鳥羽芥川町3-1-27	試	9/7	GL-0.72m以下時期不明の流れ堆 積。	14 - 20
*	伏、北端町14	試	10/31	GL-1.8m以下流れ堆積。	14 - 33
	伏、下鳥羽芥川町他	立	5/6	検出できず。	14 - 2
*	伏、下鳥羽芥川町33-1	立	7/21		14 - 13
	伏、下鳥羽芥川町	立	12/15	GL-1.1mにて弥生-古墳の包含 層。	14 - 36
上鳥羽遺跡	南、上鳥羽南島田町77, 78, 80	立	6/23	GL-1.9mにて弥生の流れ堆積。	- 8
*	南、上鳥羽北花名町13-2	立	10/3	GL-0.12m以下時期不明の流れ堆 積。	- 25
西飯食町遺跡	伏、深草飯食町837	試	5/13	GL-0.9mにて時期不明の土被。	- 3
*	伏、深草西飯食町3-1	立	7/6	検出できず。	- 12
長岡京跡隣接地	伏、淀下津町107	立	5/23	GL-0.3m以下江戸の流れ堆積。	- 4
鳥羽離宮跡	伏、中島河原田町4-65	立	4/27	盛土のみ。	14 - 1
*	伏、竹田中殿町地先	立	6/2	検出できず。	14 - 5
*	伏、中島前山町5-4・5-6	試	6/6	GL-2.2m以下平安の湿地堆積。	14 - 6
	伏、竹田中宮町4	試	6/8	2 T GL-0.4mにて鎌倉前期の溝。 3 T GL-0.38mにて平安末-鎌 倉前期の掘立柱の根石・溝・土被。 発掘調査に切り換える。	14 - 7
*	伏、中島河原田町4-12	立	6/29	盛土のみ。	14 - 9
*	伏、中島御所ノ内町26-55	試	7/1	GL-0.4m以下平安後期・時期不明 の包含層各1。	14 - 10
*	伏、竹田橋ノ井町38	立	7/4	盛土のみ。	14 - 11
*	伏、中島堰端町49-1・2	立	8/2	検出できず。	14 - 14
*	伏、竹田小屋ノ内町20, 20-1	試	8/24	GL-1.2mにて平安後期の池状堆 積。	14 - 16
*	伏、竹田浄菩提院町60-1	試	8/26	GL-1.0mにて10-15cm前後の玉 石でつくられた置池の淵浜。	14 - 18
*	伏、竹田内畑町10-8他	試	9/2, 11/16	GL-0.7mにて鳥羽離宮期以前の 溝。	14 - 19
*	伏、竹田浄菩提院町47-3・10	立	9/13	検出できず。	14 - 21
*	伏、竹田小屋ノ内町6-1, 23他	立	9/19	耕土のみ。	14 - 23
*	伏、中島堰端町3	立	10/3	検出できず。	14 - 26
*	伏、中島堰端町47	立	10/4	盛土のみ。	14 - 27
*	伏、竹田内畑町91	立	10/6	検出できず。	14 - 28
*	伏、竹田内畑町95-2	試	10/11	GL-1.1mにて平安後期の整地層、 溝。発掘調査に切り換える。	14 - 29
*	伏、中島外山町3	立	10/11	盛土のみ。	14 - 30

鳥羽巖宮跡	伏、中島秋ノ山町26	試	10/17	1 T G L-1.2mにて壘状庭園遺構。	14 - 31
＊	伏、竹田小屋ノ内町71-3他	立	11/22	壘土のみ。	14 - 34
＊	伏、竹田浄菩提院町31-2	立	12/1	壘土のみ。	14 - 35
＊	伏、竹田浄菩提院町105-12	立	12/20	検出できず。	14 - 37
＊	伏、中島前山町4-1	立	12/26	検出できず。	14 - 38

### 南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中久世遺跡	南、久世中久世町四丁目91	立	5/14	G L-0.93m以下時期不明の流れ堆積。	15 - 1
＊	南、久世中久世町三丁目68	試	5/24	G L-1.0m以下大量の発生土器を含む流路。本文41ページ。	15 - 2
＊	南、久世殿城町498他	立	6/6	巡回時工事終了。	15 - 4
＊	南、久世中久世町四丁目4	立	9/21-26	G L-0.75mにて発生中期の溝。本文41ページ。	15 - 7
＊	南、久世中久世町五丁目45	立	9/26	検出できず。	15 - 8
＊	南、久世中久世町五丁目63	立	11/14	検出できず。	15 - 12
＊	南、久世殿城町433, 434	立	12/24	壘土のみ。	15 - 13
＊	南、久世中久世二丁目132	立	10/31	検出できず。	15 - 17
大蔵遺跡	南、久世大蔵町291	試	10/27~ 12/1	G L-0.7 mにて壘町～桃山の建物跡、井戸、溝。(62M K 13と同地)	15 - 14
上久世遺跡	南、久世上久世町地先	立	5/25	検出できず。	- 3
葦嶋館跡	西、川島玉頭町19-1	立	8/1	検出できず。	- 5
明治池須恵屋跡	西、大原野尻力町960他	立	8/9	検出できず。	- 6
福西古墳群	西、大枝東長町1-67	立	9/29	検出できず。	- 9
史跡 名勝 崖山	西、崖山上河原町1-3	立	10/21	G L-0.7 m以下時期不明の流れ堆積。	- 10
天鼓の 藤古墳隣地	西、上桂森上町26 桂中学校	立	11/11	検出できず。	- 11

### 長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	伏、羽東師菱川町396	立	5/6	壘土のみ。	- 1
＊	伏、羽東師菱川町138	立	5/13	G L-0.7mにて平安の包含層。	- 2
＊	伏、羽東師菱川町491	試	5/18	G L-1.0 m以下時期不明の湿地堆積。	- 3
＊	伏、履島渡場島町32他	立	5/23	G L-0.75m以下時期不明の流れ堆積。	- 4
＊	伏、納所町205	立	7/21	壘土のみ。	- 5
＊	伏、羽東師菱川町239	立	8/5	G L-0.3 m以下時期不明の流れ堆積。	- 6
＊	伏、履島渡場島町37	立	8/23	G L-0.85m以下時期不明の流れ堆積。	- 7
＊	南、久世築山町377	立	9/19	検出できず。	15 - 8
＊	伏、羽東師古川町243, 244, 245	試	9/22	G L-1.7mにて室町の包含層。	- 9
＊	伏、横大路西海道3-1	立	10/3	検出できず。	- 10
＊	南、久世東土川町242	立	10/3	壘土のみ。	15 - 11
＊	伏、羽東師菱川町361-1	試・発	10/12, 20-28	G L-0.5mにて長岡京期の土壌4。発掘調査に切り換える。	- 12



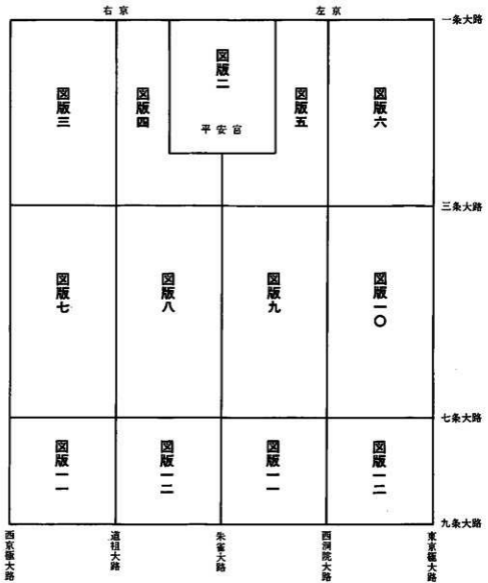
長岡京跡	南、久世築山町377	立	11/17	GL-1.57m以下時期不明の流れ堆積。	15 - 14
+	西、大原野上墨蹟ノ町905他	立	11/24	GL-0.3m以下小細川の旧流路。	- 15
+	伏、久我森ノ宮町14-22	立	12/12	検出できず。	- 16
+	伏、久我本町12-12他	発	5/11~ 6/23	GL-0.5mにて発生中期の方形周溝、古墳中期の溝、長岡京期の建物。	15 - 21

(なお、図版番号の内右の番号は調査記号と一致する。)

## 圖 版

# 調査地点位置図

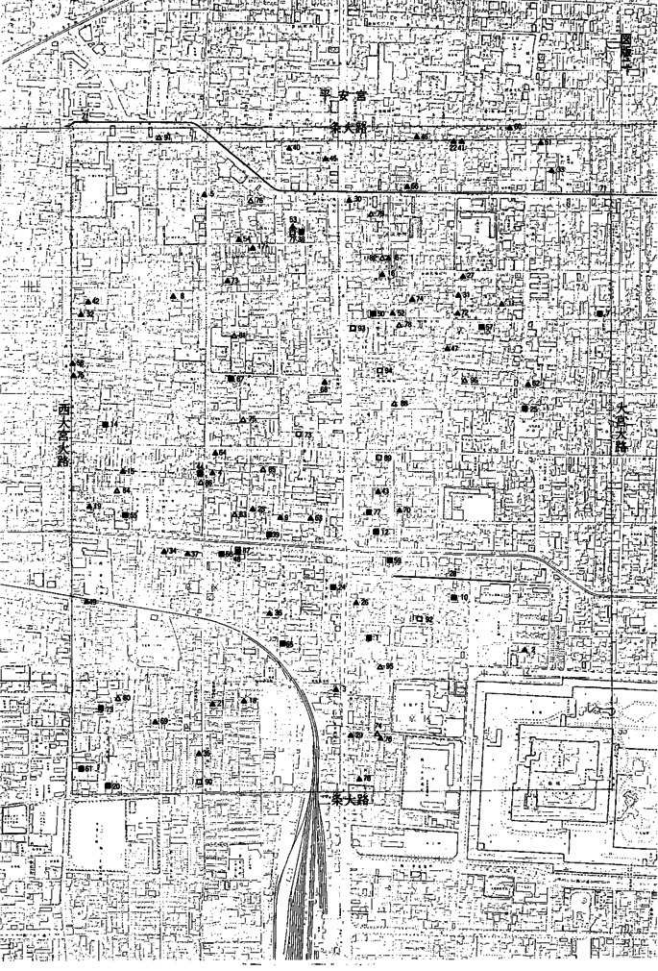
## 平安京図葉分割図



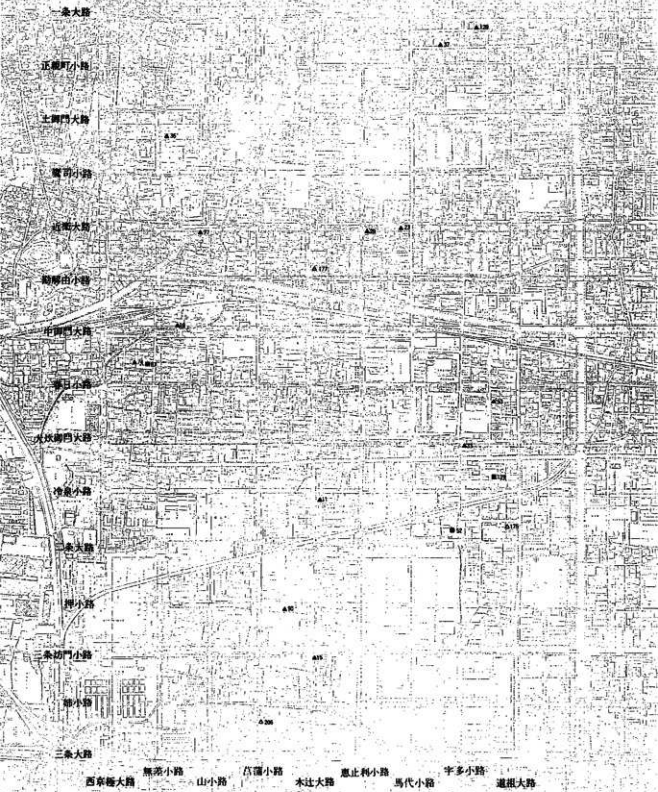
### 凡例

- |   |            |   |            |
|---|------------|---|------------|
| □ | 62年度試掘調査地点 | ■ | 63年度試掘調査地点 |
| △ | 62年度立会調査地点 | ▲ | 63年度立会調査地点 |

— — — — — 遺跡範囲



右京北辺・一・二・三条三・四坊



右京北邊一・二・三條一・二邊

一・二條大路

正親町小路

土御門大路

廣町小路

近衛大路

勸修寺小路

中興門大路

春日小路

大炊門大路

傳馬小路

三條大路

舞小路

三条坊門小路

堀小路

二條大路

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西御典小路

西大宮大路

西衛門小路

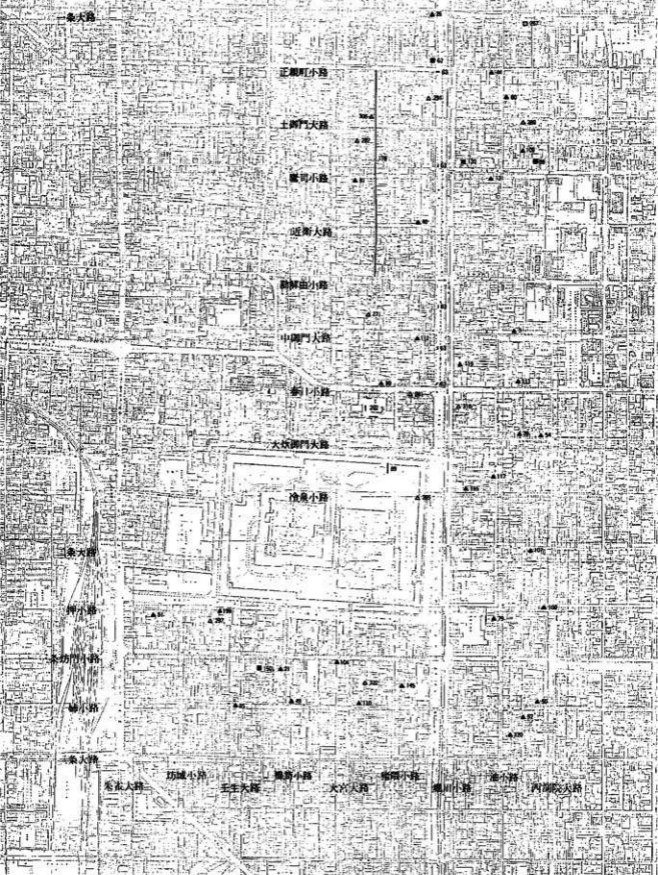
皇嘉門大路

西坊城小路

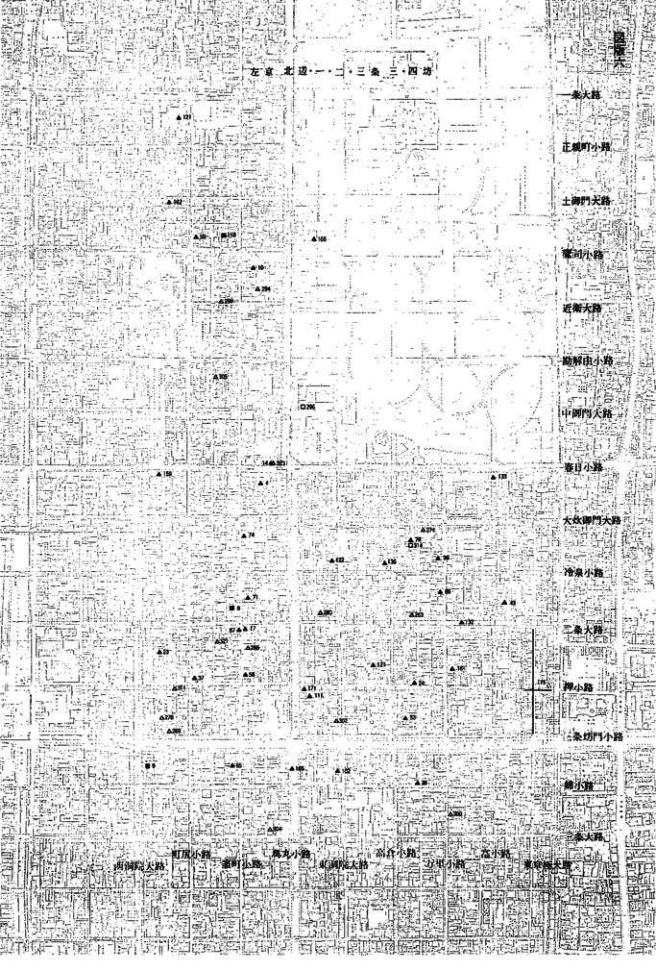
朱雀大路



北京北門——二、三象——口坊



左京北邊一一三條三-四坊



大御門大路

正親町小路

土御門大路

電司小路

近衛大路

錦解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

三條大路

御小路

三條坊門小路

錦小路

東大路

西御門大路

町屋小路

東町小路

高丸小路

東御門大路

高倉小路

刀里小路

高小路

東寺御大路



三條大路

六角小路

四條坊門小路

錦小路

四條大路

綾小路

五條坊門小路

五條大路

五條大路

橋口小路

六條坊門小路

福梅小路

六條大路

左安平小路

七條坊門小路

北小路

七條大路

西京橋大路

無名小路

山小路

高碑小路

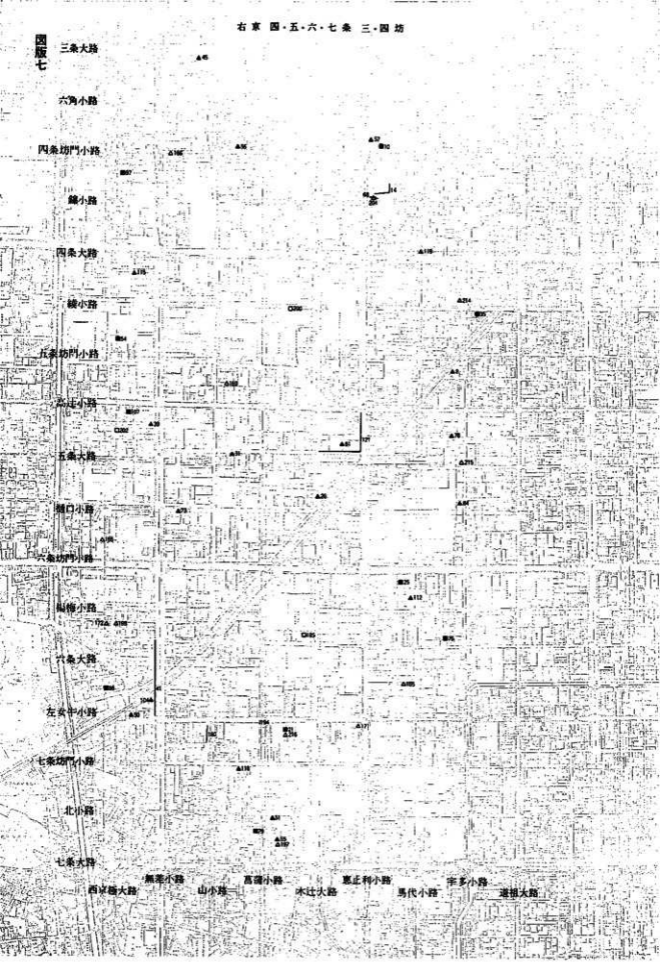
木辻大路

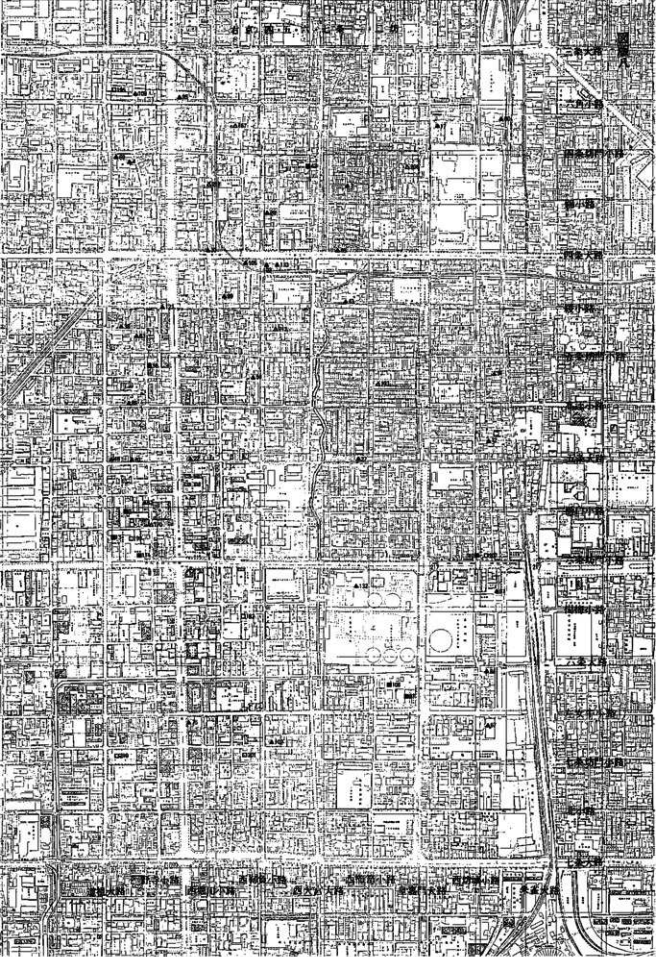
惠正利小路

馬代小路

宇多小路

邊相大路





左京 四・五・六・七条 一・二筋

圖  
版  
九

三条大路

六角小路

四條坊門小路

錦小路

四條大路

錦小路

五條坊門小路

高辻小路

五條大路

錦川小路

六條坊門小路

堀橋小路

六條大路

左女牛小路

七條坊門小路

北小路

七條大路

東安大路

坊城小路

正堂大路

藤筋小路

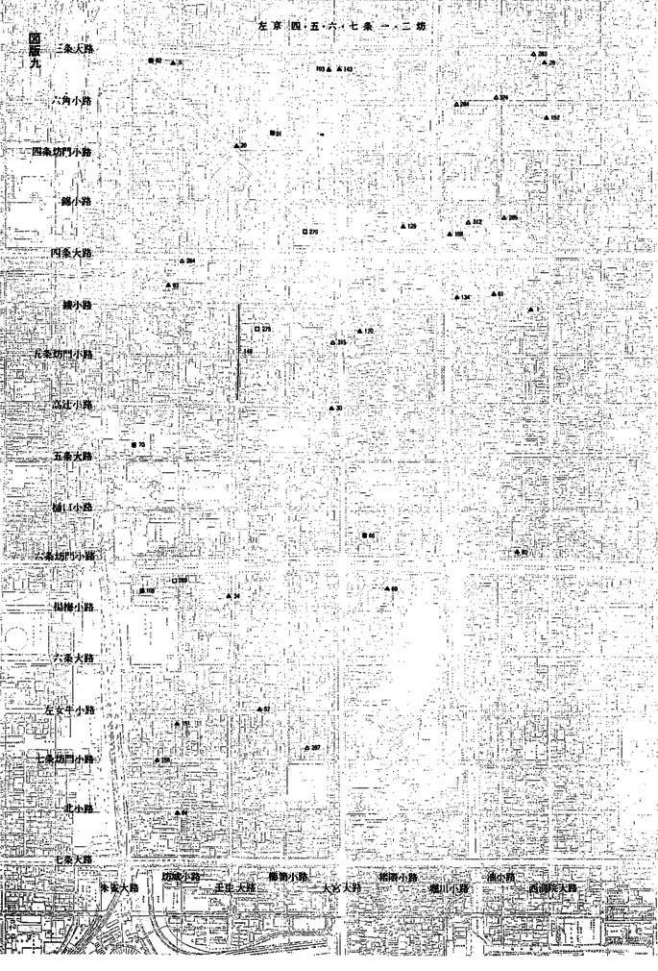
大宮大路

堀橋小路

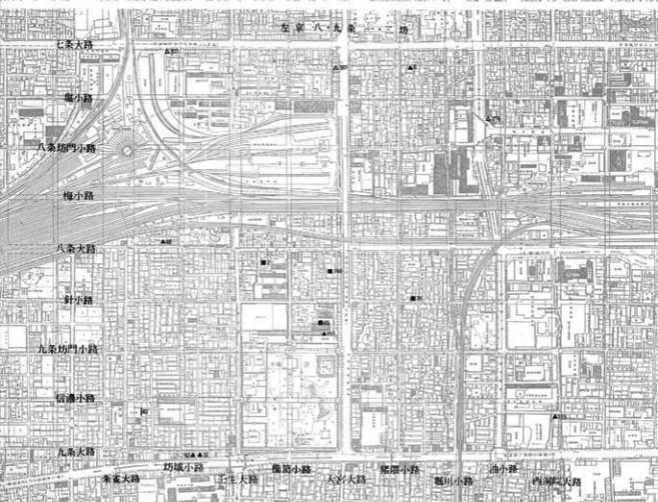
堀川小路

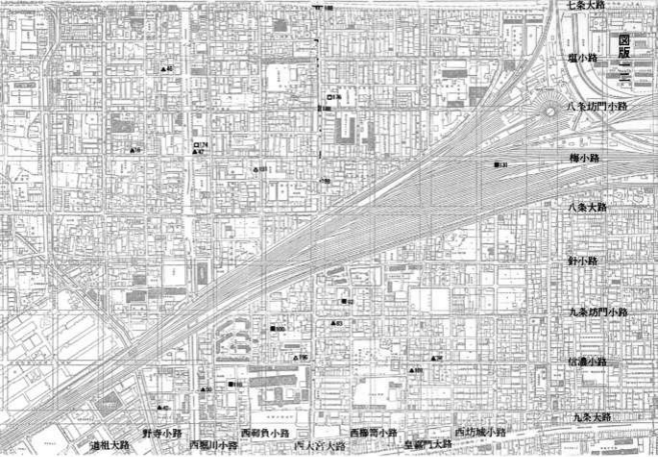
浦小路

西御所大路









左章 八・九条三・四坊



北白川瓦葺跡 (KS)

中臣遺跡 (RT)

上終町遺跡 (KS)

北白川廃寺跡 (KS)

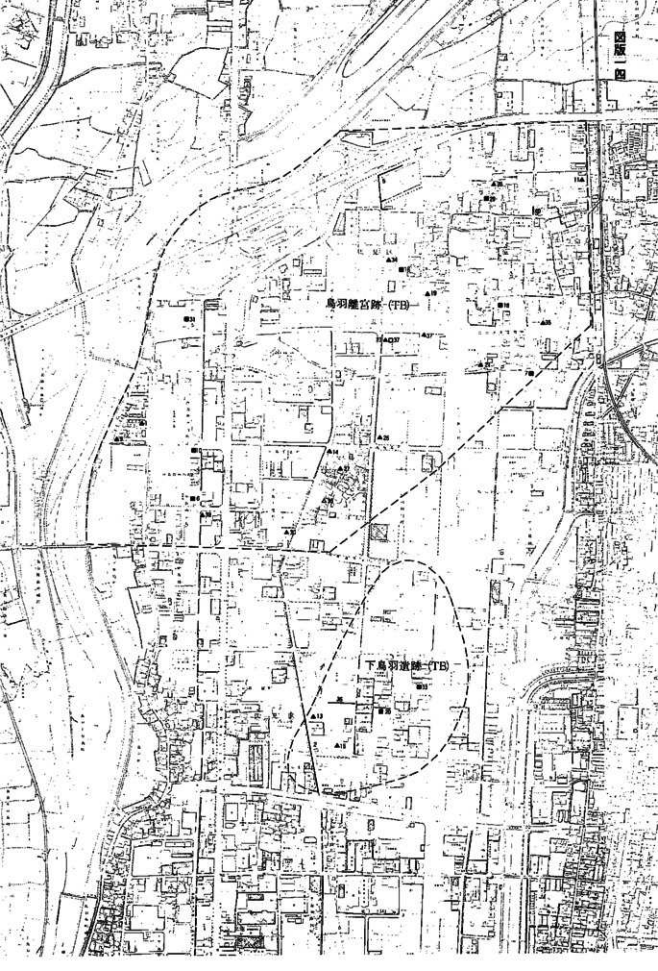
北白川上池田町  
古墳群 (KS)

小倉町・別当町遺跡 (KS)

白河街区 (KS)

岡崎遺跡 (KS)



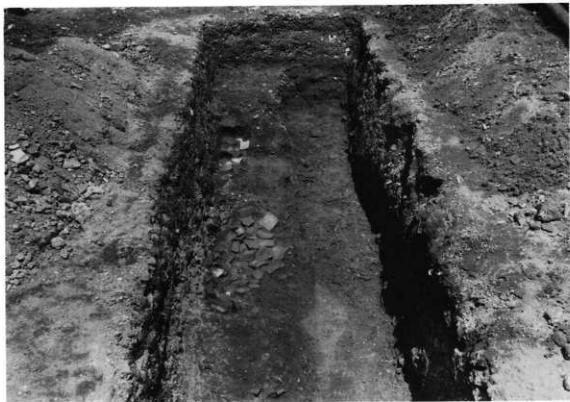


鳥羽離宮跡 (TB)

下鳥羽遺跡 (TB)







1 遺跡全景 (南から)



2 瓦出土状況 (東から)



1 遺跡全景 (西から)



2 SD1第2面 (南西から)



1 遺跡全景 (西から)



2 石組み状況 (東南から)



1 遺跡全景 (東から)



2 2トレンチ全景 (東から)



1 トレンチ全景 (北から)



2 トレンチ全景 (北東から)



3 石組み溝及び建物跡 (西から)



4



5



6





1



3



2



9



7



10



8



3







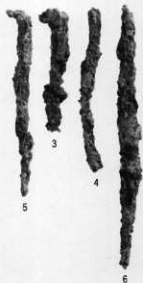
9



10



11



5

3

4

6



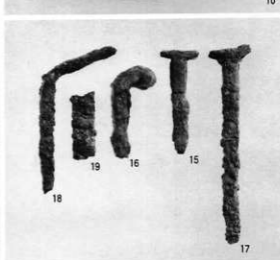
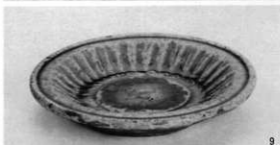
12



14



8





21



23



19



24



25



26



1



13



11



14



2



3



5



6



7



8



15



16



17



18



19



21



20



22



25



23



24



26



27



29



28

京都市内遺跡試掘立会調査概報  
昭和63年度

発行日 平成元年3月31日

発行 京都市文化観光局

住所 京都市左京区岡崎最勝寺町13京都館内

編集 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

住所 京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町  
TEL (075) 415-0521

印刷 真 陽 社